

平成24年度大阪府学力・学習状況調査

柏原市における結果の概要について

調査の目的

1. 府内の義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
2. 各教育委員会、学校等が府内外的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
3. 各学校が各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

調査の概要

1. 調査日 平成24年6月12日(火)
2. 対象学年 小学校6年生・中学校3年生の全児童・生徒
3. 調査内容 小学校6年生 国語AとB・算数AとB・質問紙調査
中学校3年生 国語AとB・数学AとB・英語・質問紙調査

調査A

●主として「知識」に関する問題

○身につけておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容

○実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

調査B

●主として「活用」に関する問題

○知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などのかかわる内容

○様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容

質問紙調査

●学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等について設問に選択式で答える問題

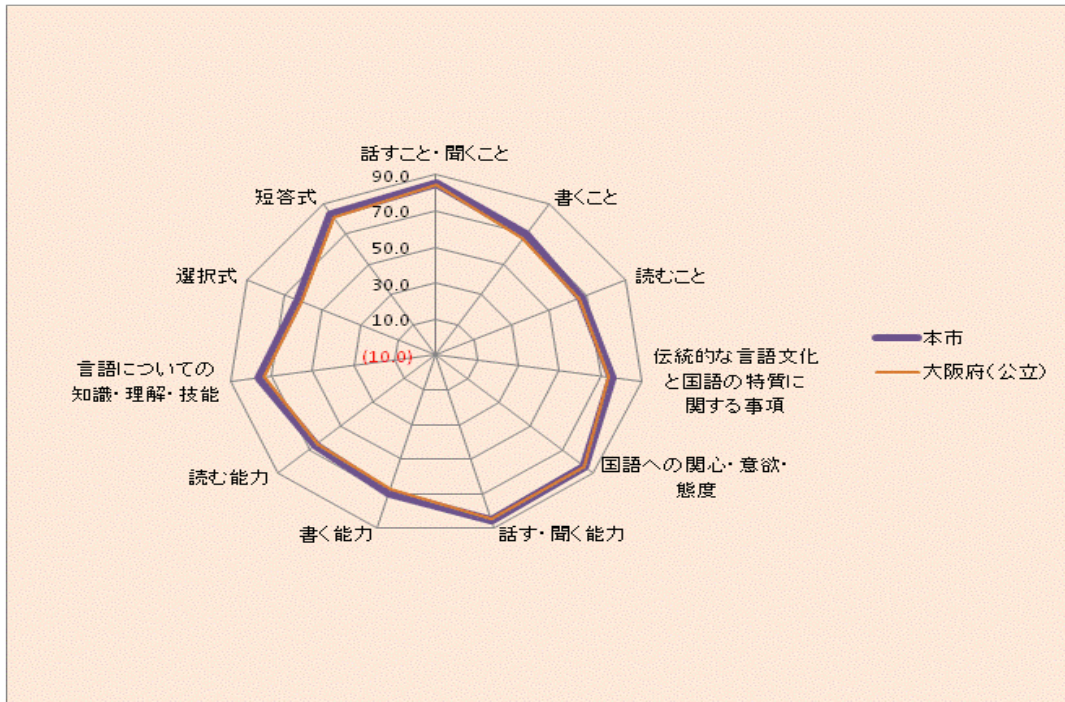
調査の結果の公表

- この調査から測定できるのは学力の特定の一部で、学校における教育活動の一側面に過ぎません。序列化や過度な競争につながらないように十分配慮します。
- 他校との優劣の比較が目的ではありません。柏原市全体の児童生徒の現状を十分に把握して、今後の教育施策に反映させ、「生きる力」を育むことに活用します。
- 知育、徳育、体育を含めた広い意味で学力向上に役立てることを目的として、公表にあたっては、学校名を明らかにしません。

各教科別の調査結果の概要

各教科別の調査結果の概要

①小学校国語A(主として知識に関する問題)



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

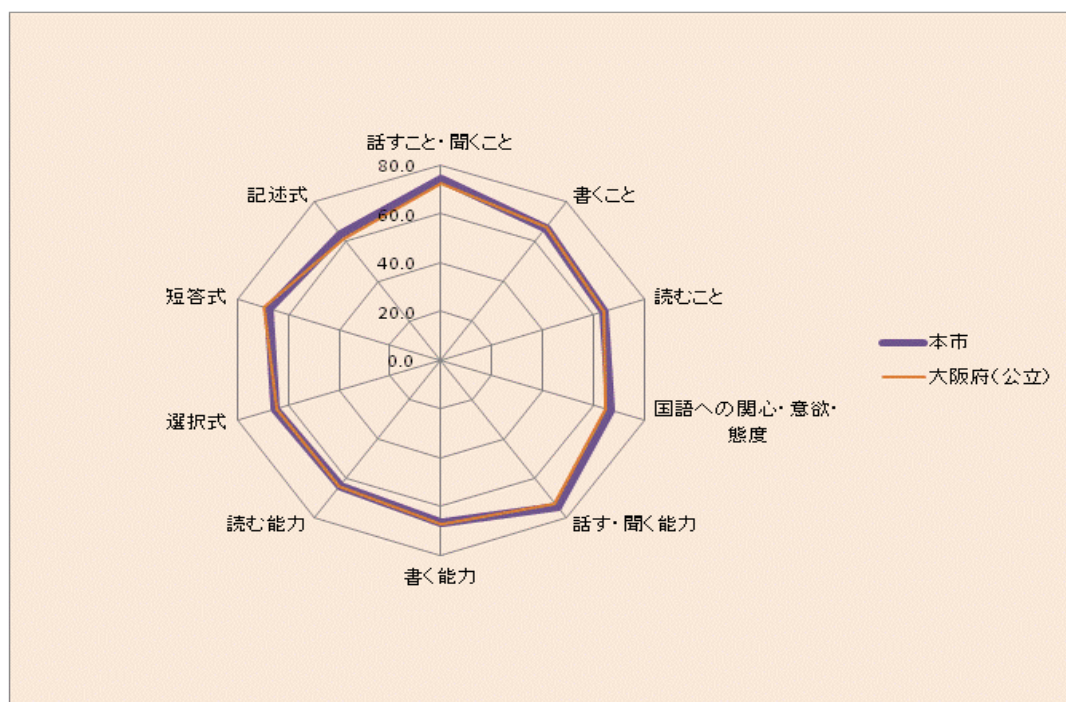
分類	区分	対象設問数(問)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	2
	書くこと	2
	読むこと	2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	12
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	2
	話す・聞く能力	2
	書く能力	2
	読む能力	2
	言語についての知識・理解・技能	12
問題形式	選択式	7
	短答式	11
	記述式	0

平均正答率

本市	大阪府(公立)
75.1%	73.1%

「書くこと」「書く能力」「読むこと」「読む能力」に課題が見られます。

②小学校国語B(主として活用に関する問題)



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

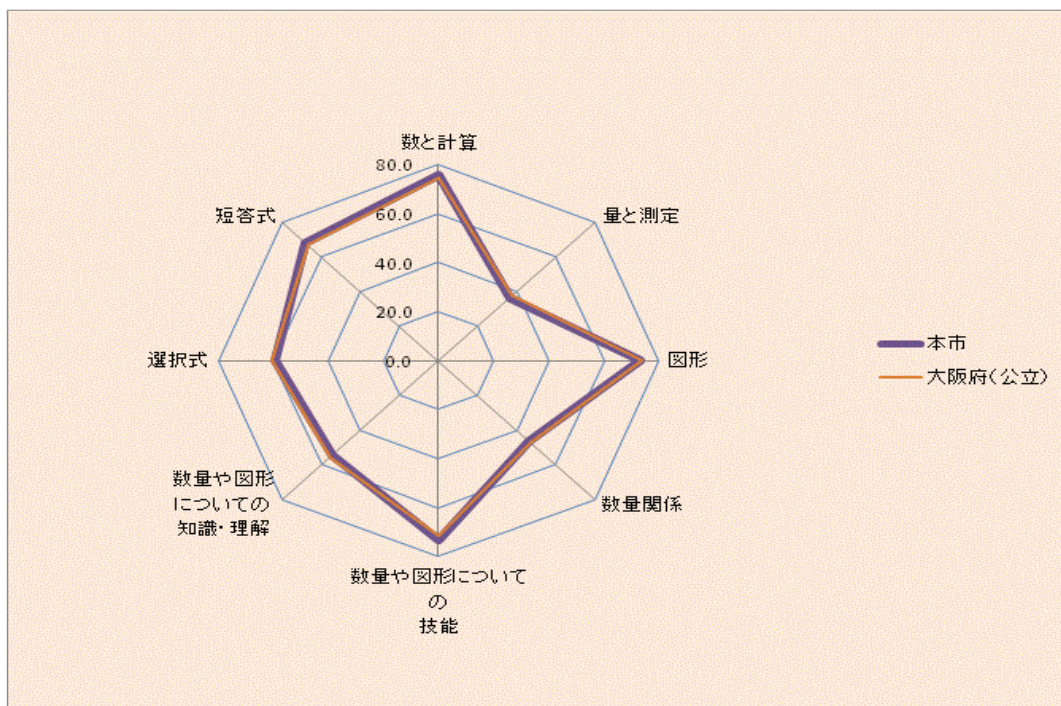
分類	区分	対象設問数 (問)
学習指導要領の 領域等	話すこと・聞くこと	3
	書くこと	5
	読むこと	5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3
	話す・聞く能力	3
	書く能力	5
	読む能力	5
	言語についての知識・理解・技能	0
問題形式	選択式	3
	短答式	4
	記述式	3

平均正答率

本市	大阪府(公立)
65.7%	65.5%

「書くこと」「書く能力」「読むこと」「読む能力」に課題が見られます。

③小学校算数A(主として知識に関する問題)



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

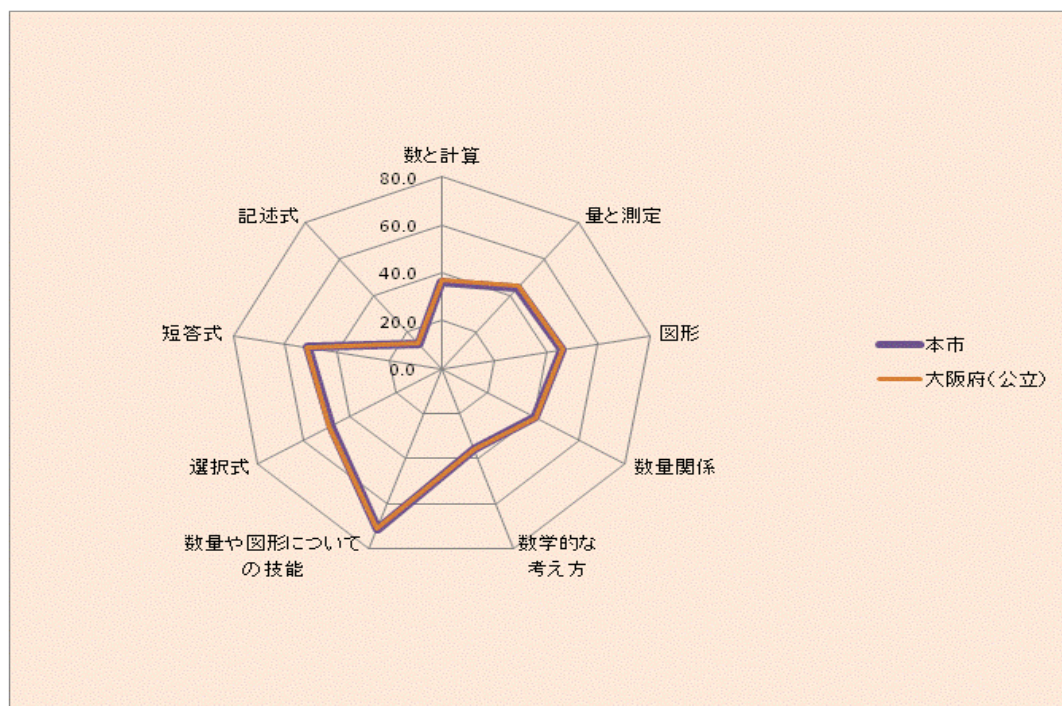
分類	区分	対象設問数(問)
学習指導要領の領域等	数と計算	9
	量と測定	3
	図形	3
	数量関係	3
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0
	数学的な考え方	0
	数量や図形についての技能	9
	数量や図形についての知識・理解	9
問題形式	選択式	9
	短答式	9
	記述式	0

平均正答率

本市	大阪府(公立)
63.7%	63.6%

昨年度に比べ「図形」に改善が見られますが、「量と測定」「数量関係」に課題が見られます

④小学校算数B(主として活用に関する問題)



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

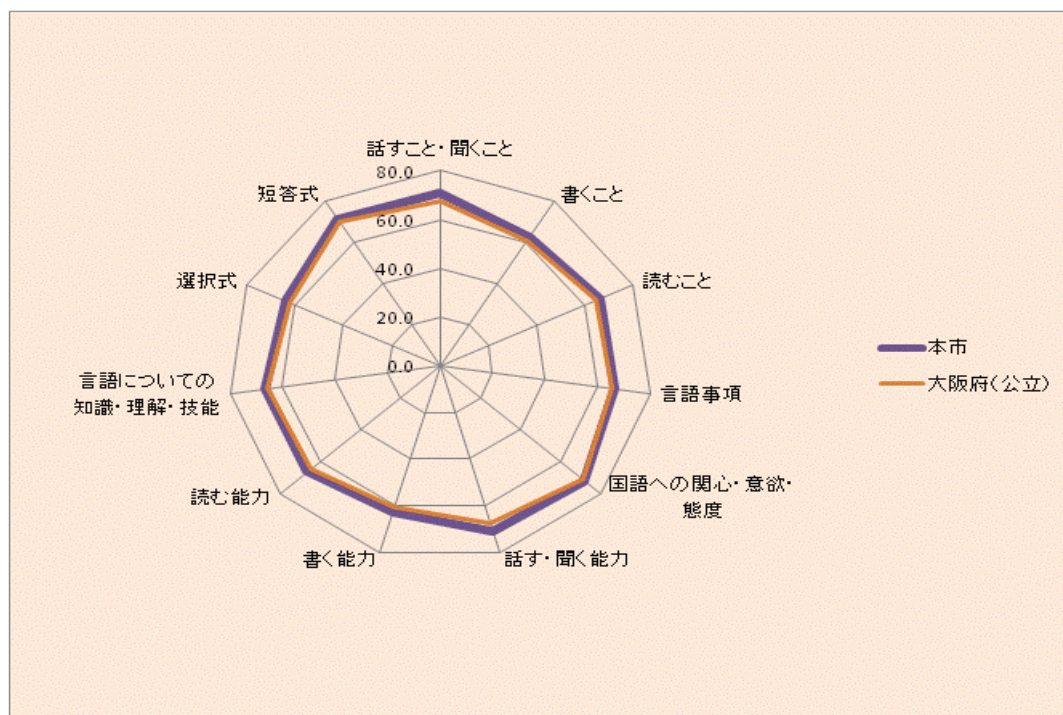
分類	区分	対象設問数(問)
学習指導要領の領域等	数と計算	3
	量と測定	2
	図形	4
	数量関係	9
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0
	数学的な考え方	12
	数量や図形についての技能	3
	数量や図形についての知識・理解	0
問題形式	選択式	6
	短答式	6
	記述式	3

平均正答率

本市	大阪府(公立)
42.7%	42.9%

「数と計算」「数学的な考え方」について課題が見られる他、昨年同様「記述式」にも課題が見られます。

⑤ 中学校国語A(主として知識に関する問題)



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

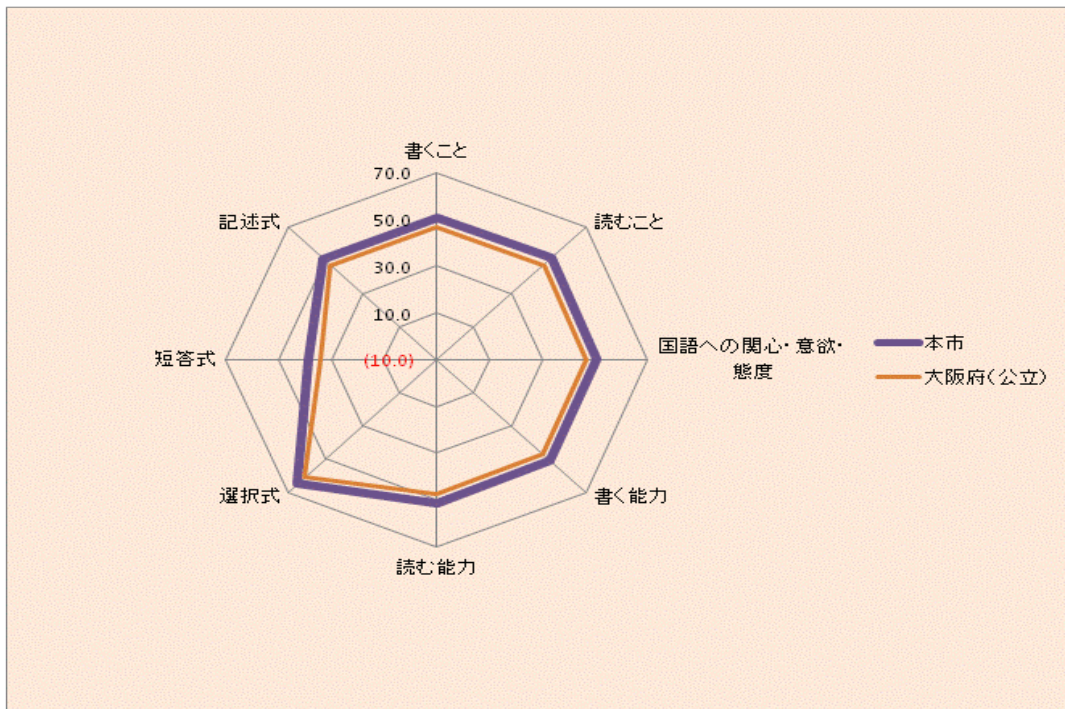
分類	区分	対象設問数 (問)
学習指導要領の 領域等	話すこと・聞くこと	5
	書くこと	3
	読むこと	9
	言語事項	16
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3
	話す・聞く能力	5
	書く能力	3
	読む能力	9
	言語についての知識・理解・技能	16
問題形式	選択式	20
	短答式	13
	記述式	0

平均正答率

本市	大阪府(公立)
66.8%	65.1%

昨年度に比べ「国語への関心・意欲・態度」が向上していますが、依然「書くこと」「書く能力」に課題が見られます。

⑥中学校国語B(主として活用に関する問題)



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

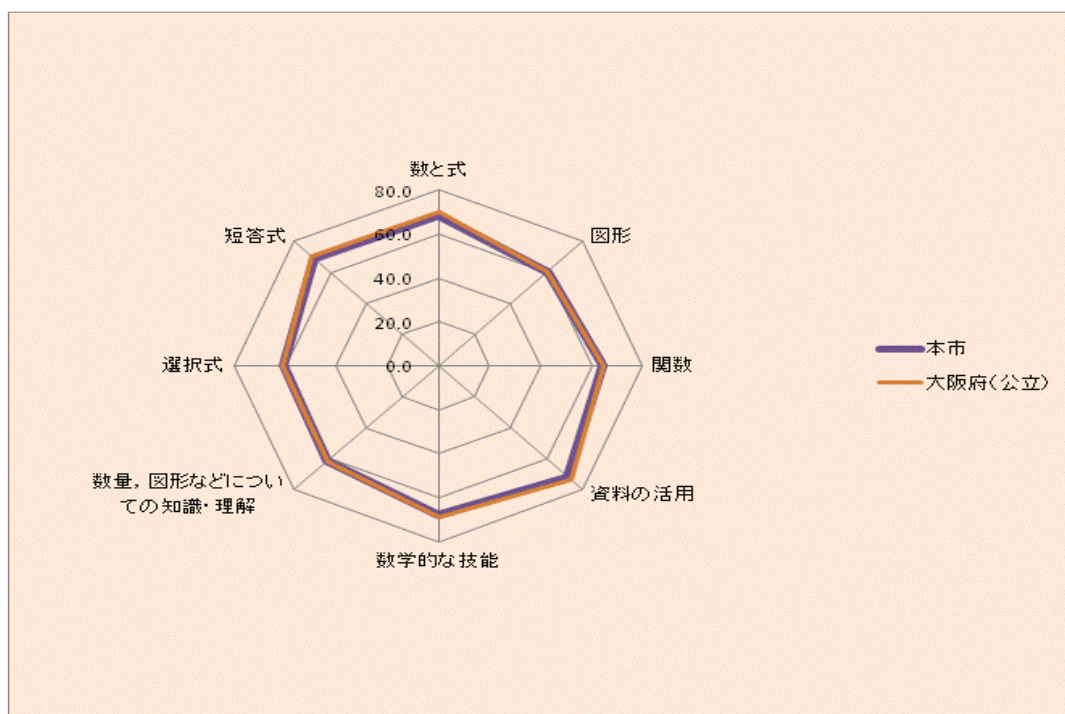
分類	区分	対象設問数 (問)
学習指導要領の 領域等	話すこと・聞くこと	0
	書くこと	3
	読むこと	9
	言語事項	0
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3
	話す・聞く能力	0
	書く能力	3
	読む能力	9
	言語についての知識・理解・技能	0
問題形式	選択式	3
	短答式	3
	記述式	3

平均正答率

本市	大阪府(公立)
51.3%	47.3%

「短答式」に課題が見られます。

⑦中学校数学A(主として知識に関する問題)



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

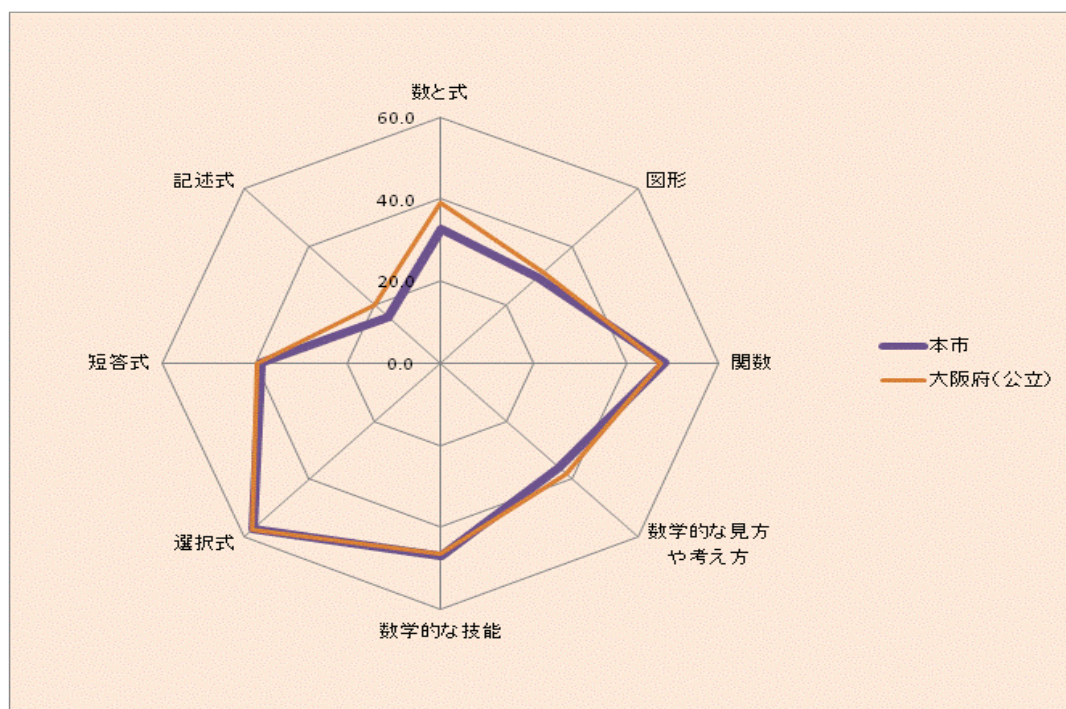
分類	区分	対象設問数(問)
学習指導要領の領域等	数と式	10
	図形	10
	関数	9
	資料の活用	2
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0
	数学的な見方や考え方	0
	数学的な技能	16
	数量, 図形などについての知識・理解	15
問題形式	選択式	16
	短答式	15
	記述式	0

平均正答率

本市	大阪府(公立)
64.8%	65.5%

昨年同様「図形」に課題が見られます。

⑧中学校数学B(主として活用に関する問題)



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

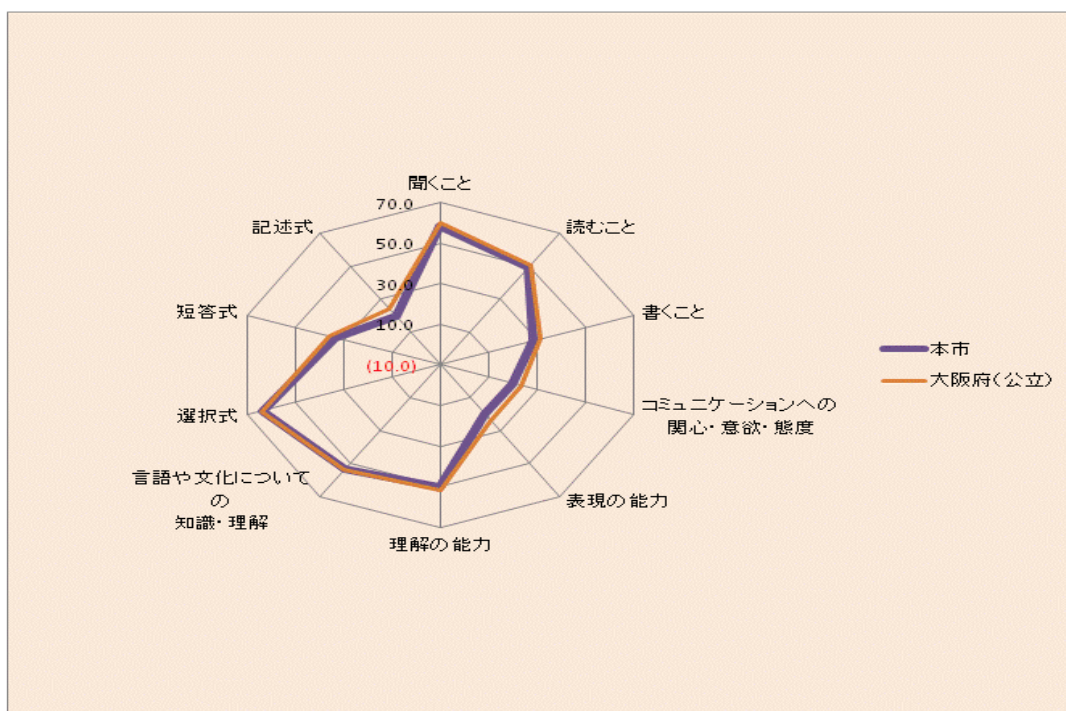
分類	区分	対象設問数(問)
学習指導要領の領域等	数と式	3
	図形	5
	関数	7
	資料の活用	0
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0
	数学的な見方や考え方	11
	数学的な技能	4
	数量、図形などについての知識・理解	0
問題形式	選択式	4
	短答式	8
	記述式	3

平均正答率

本市	大阪府(公立)
39.0%	40.4%

「記述式」「数と式」に課題が見られます。

⑨中学校英語



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

分類	区分	対象設問数 (問)
学習指導要領の領域等	聞くこと	8
	話すこと	0
	読むこと	17
	書くこと	14
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	5
	表現の能力	5
	理解の能力	24
	言語や文化についての知識・理解	5
問題形式	選択式	16
	短答式	9
	記述式	5

平均正答率

本市	大阪府 (公立)
47.0%	48.7%

「記述式」「表現の能力」「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」に課題が見られます。

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査結果の概要

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査結果の概要

基本的な生活習慣

「朝食を毎日食べていますか」

「家で学校の宿題をしますか」

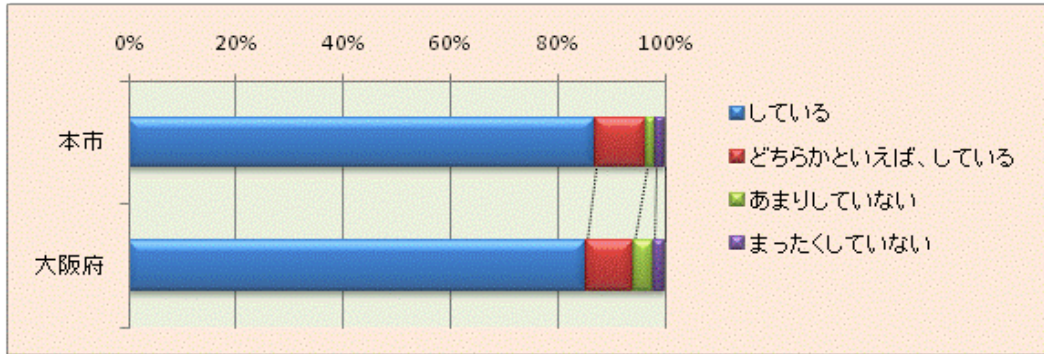
「学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか」

- ・朝食を食べている本市の児童生徒の割合は小学校と中学校で差があり、朝食を食べている児童生徒の正答率が高い。
- ・宿題をしている本市の児童生徒の割合は、小学生でほぼ大阪府平均並み、中学生は大阪府平均より少し上回っており、宿題をしている児童生徒の正答率が高い。
- ・学校に持って行くものを確かめている本市の児童生徒の割合は、小学校中学校ともに大阪府平均より高く、特に中学校の英語で正答率に差がはっきり出ている。

①朝食

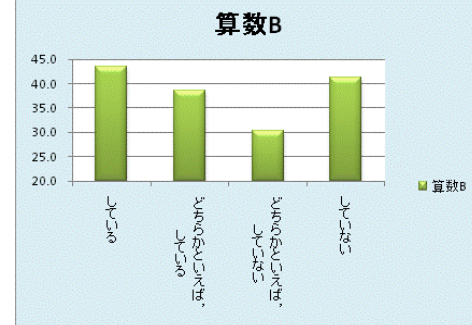
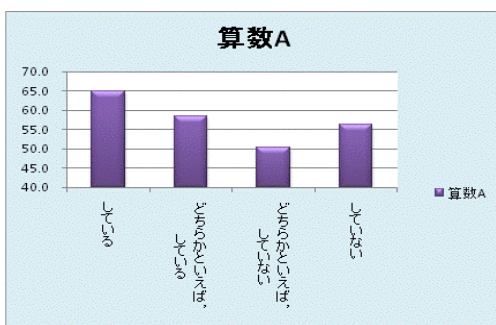
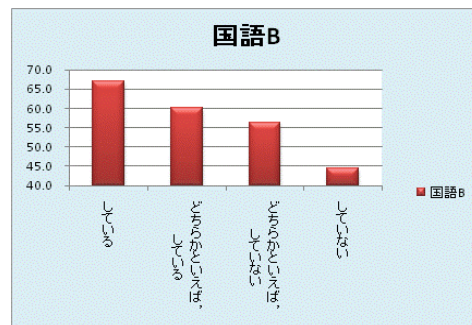
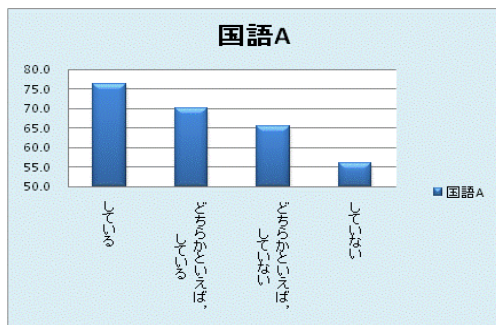
「朝食を毎日食べていますか」

小学生

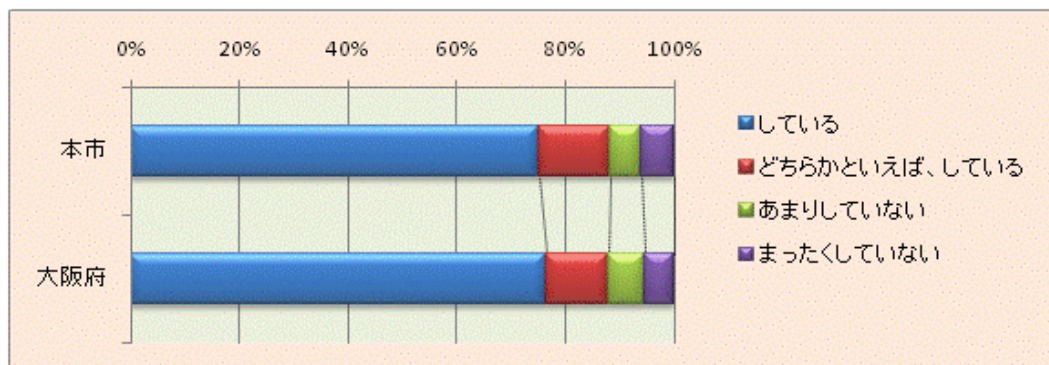


朝食を食べている本市の児童の割合は大阪府平均より少し高く、食べている児童は特に国語の正答率が高い。

学力調査とのクロス集計(縦軸は平均正答率)

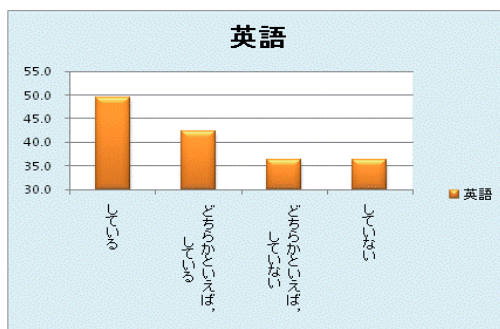
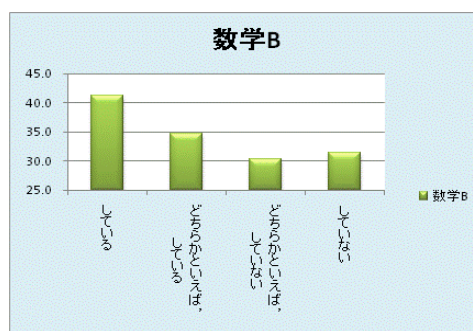
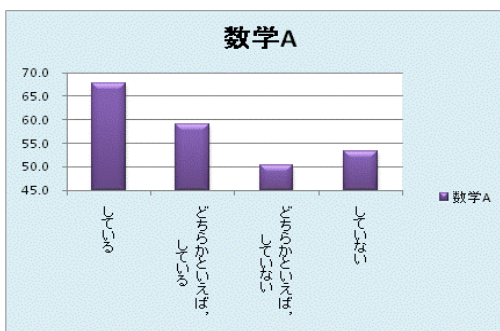
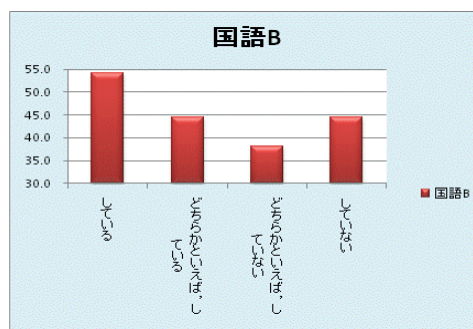
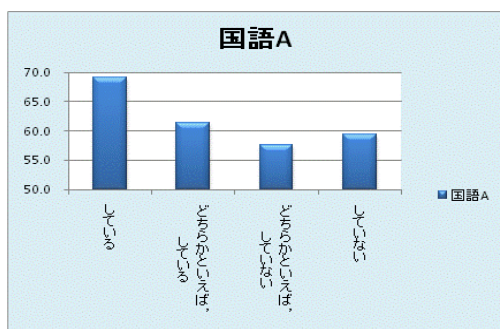


中学生



朝食を食っている本市の生徒の割合は大阪府平均より少し低い。食っている生徒は全ての教科において正答率が高い傾向。

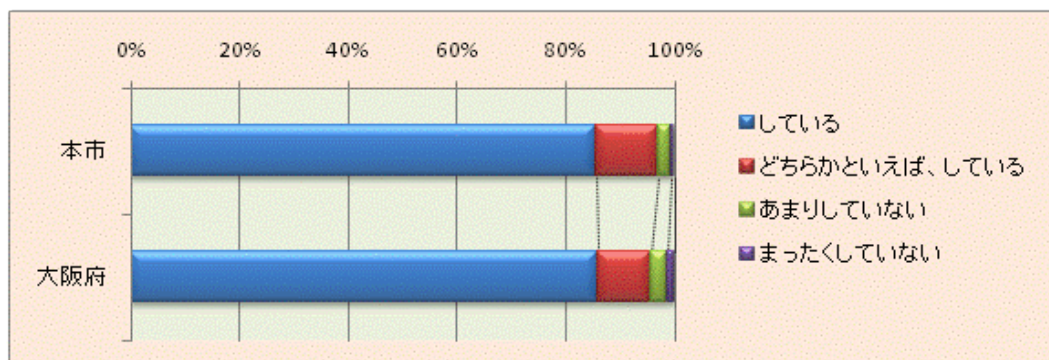
学力調査とのクロス集計(縦軸は平均正答率)



②宿題

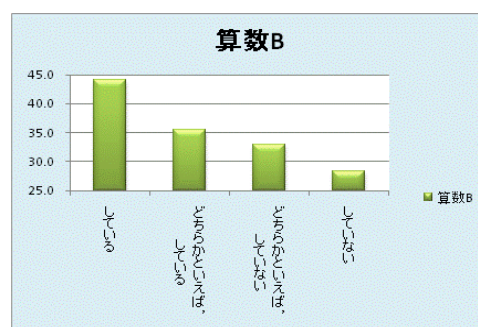
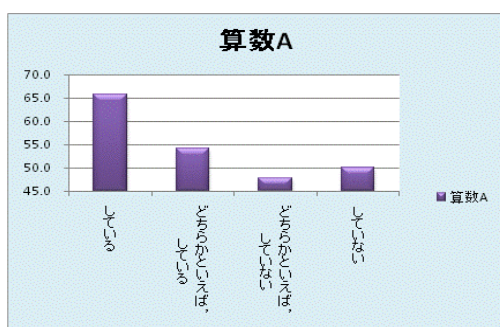
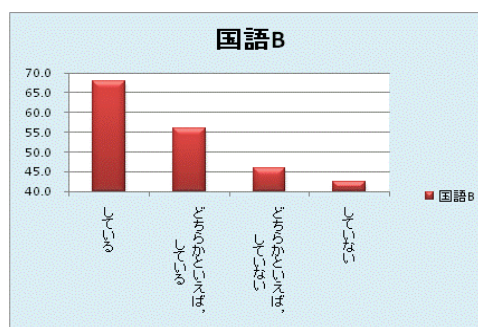
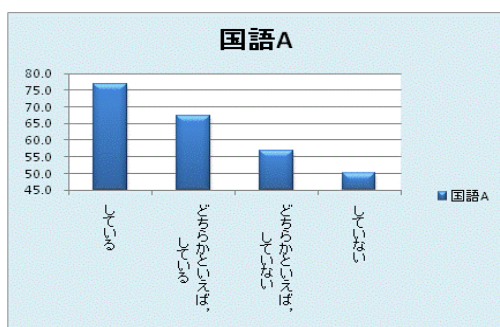
「家で学校の宿題をしていますか」

小学生

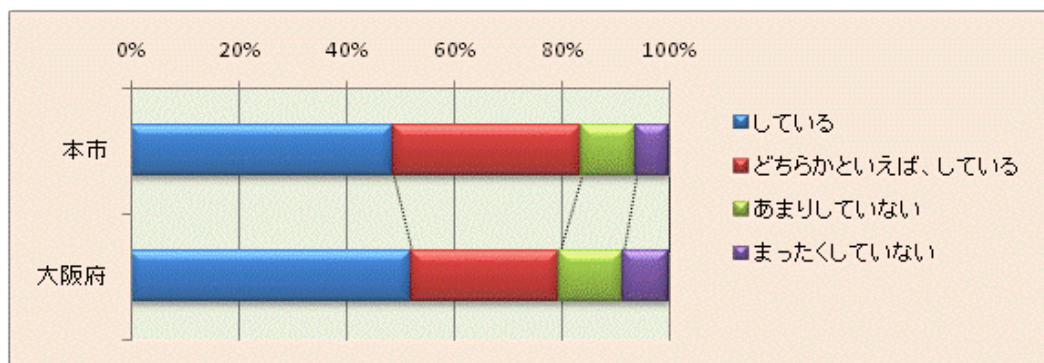


宿題をしている本市の児童の割合はほぼ大阪府平均並み。宿題をしている児童の正答率が高い。

学力調査とのクロス集計(縦軸は平均正答率)

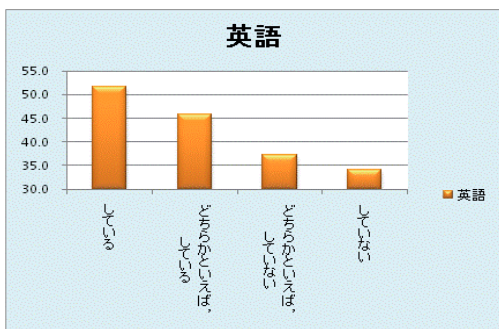
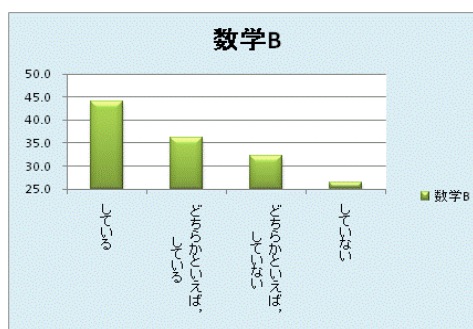
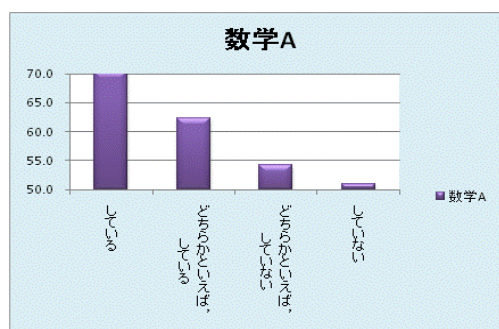
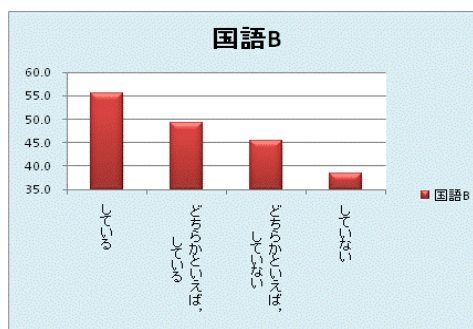
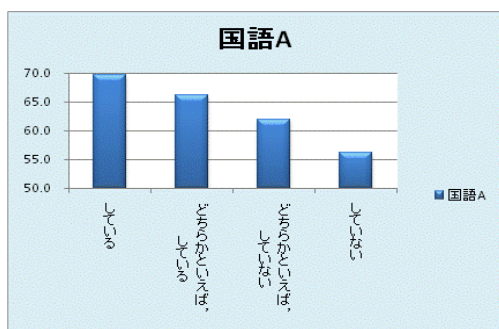


中学校



宿題をしている本市の生徒の割合は大阪府平均より少し高く、宿題をしている生徒の正答率が高い。

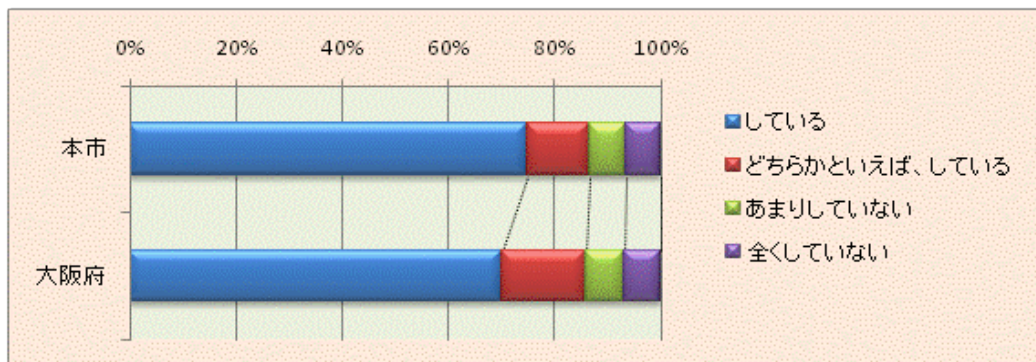
学力調査とのクロス集計(縦軸は平均正答率)



③学校の準備

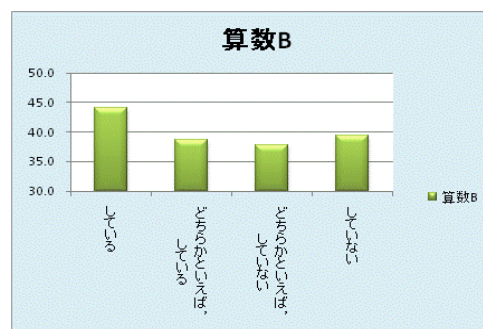
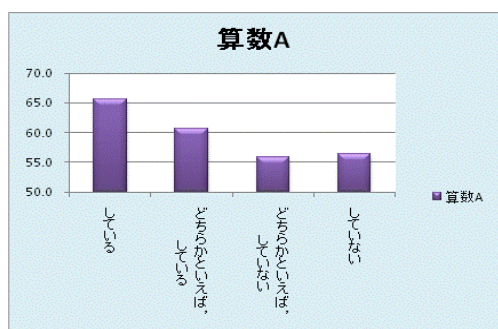
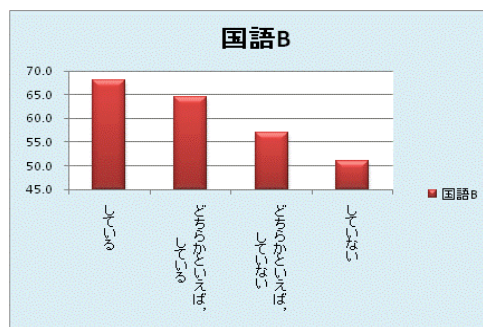
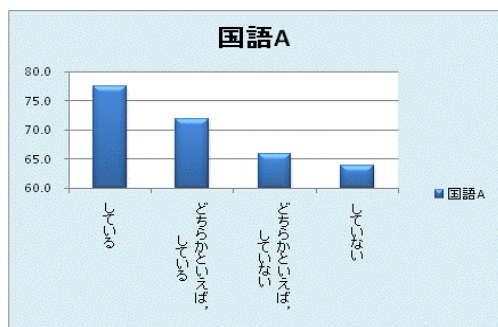
「学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか」

小学生

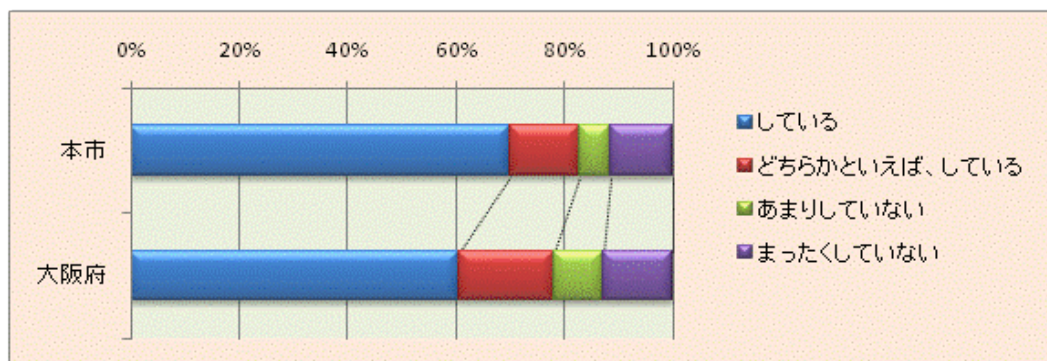


学校に持って行くものを確かめている本市の児童の割合は大阪府平均より高く、確かめている児童の正答率が高い。

学力調査とのクロス集計(縦軸は平均正答率)

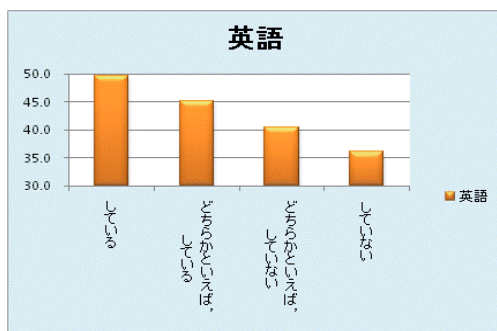
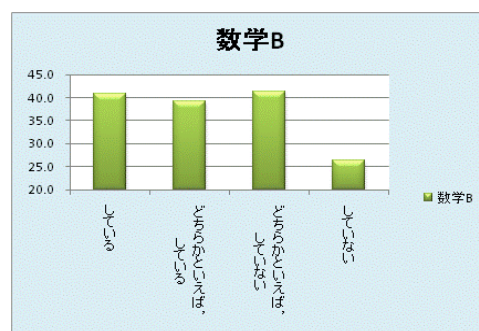
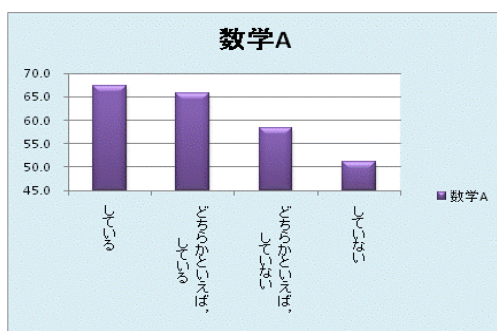
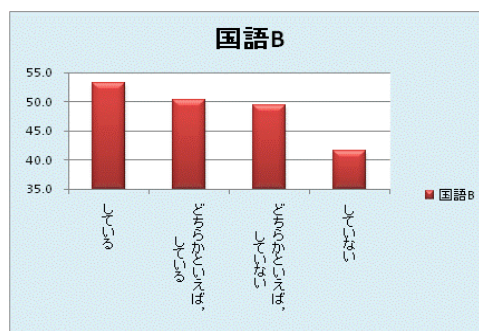
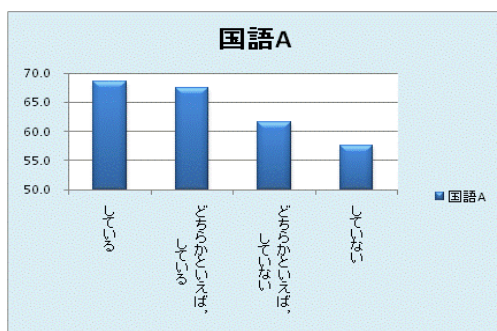


中学生



学校に持って行くもの確かめている本市の生徒の割合は大阪府平均より少し高く、特に英語で正答率の差がはっきり出ている。

学力調査とのクロス集計(縦軸は平均正答率)



学習習慣、意欲、態度等の概要

学習習慣、意欲、関心、態度等

「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか」

「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」

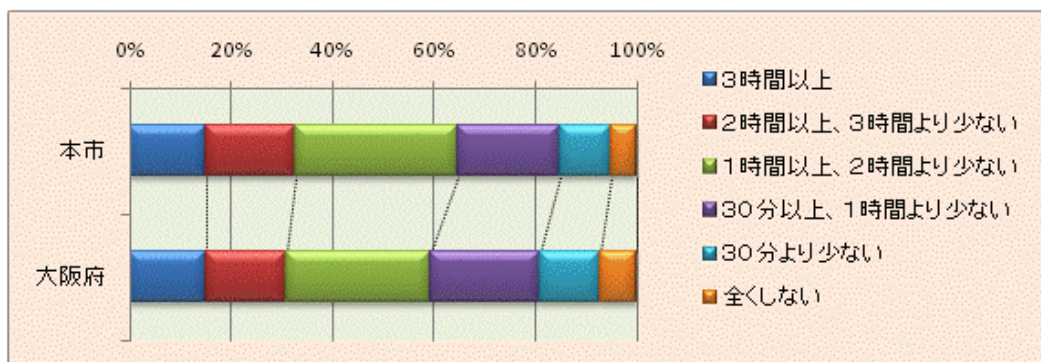
「読書は好きですか」

- ・普段の学習時間が30分未満の本市の児童生徒の割合は、小学生は大阪府平均より低く、中学生は大阪府平均より高い。また学習時間と正答率はほぼ比例している。
- ・家で自分で計画を立てて勉強している本市の児童生徒の割合は、小学生は大阪府平均並みで、中学生は大阪府平均より下回っている。計画を立てて学習している児童生徒の正答率は高く、特に中学生の「活用」の部分で正答率に差が出ている。
- ・読書が好きな本市の児童生徒の割合は、小学生は大阪府平均並みで、中学生は大阪府平均より少し高い。小学校で「好きではない」と答えた児童の正答率が極端に低い。

①家庭学習

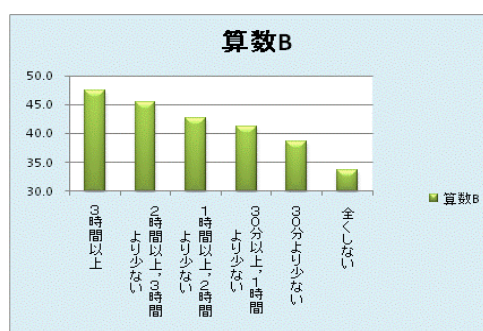
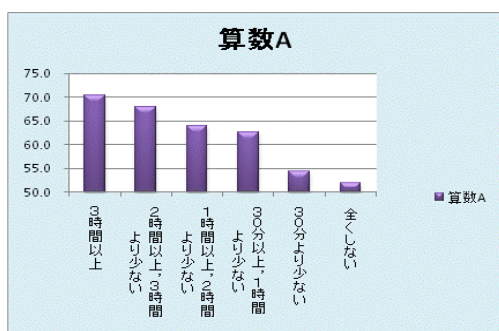
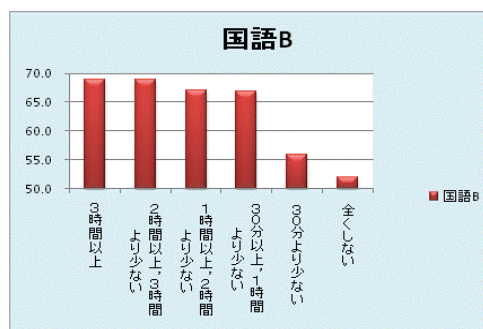
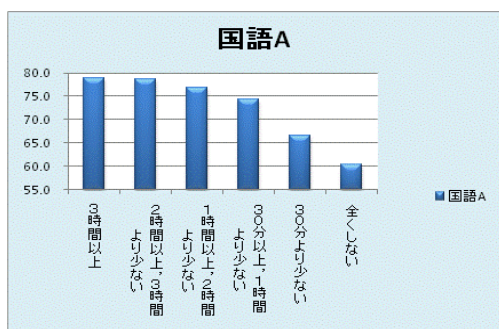
「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか」

小学生

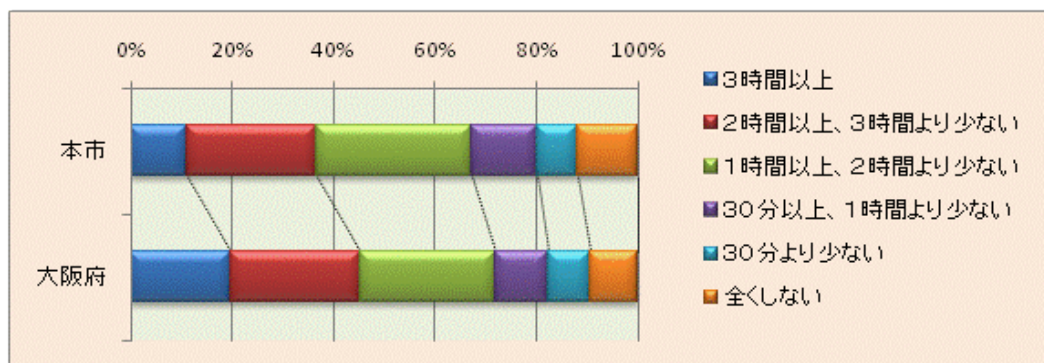


普段の学習時間が30分未満の本市の児童の割合が昨年度より減り、大阪府平均より低い。また学習時間と正答率はほぼ比例している。

学力調査とのクロス集計(縦軸は平均正答率)

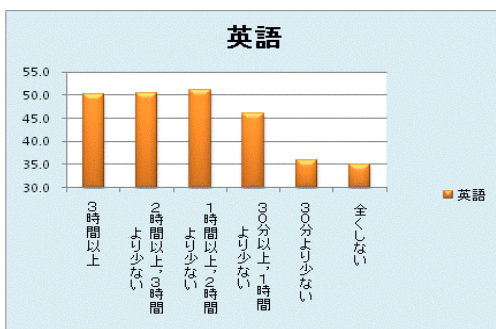
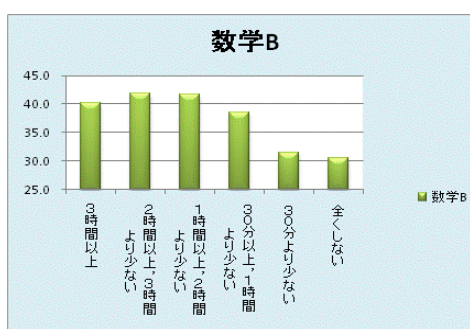
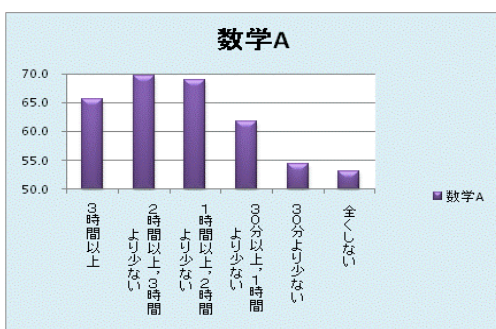
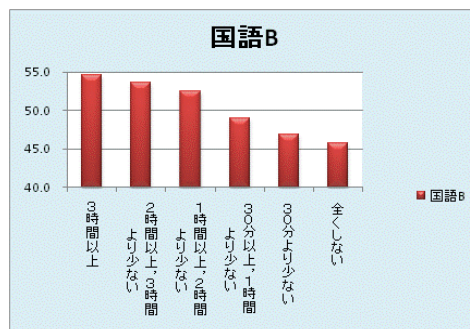
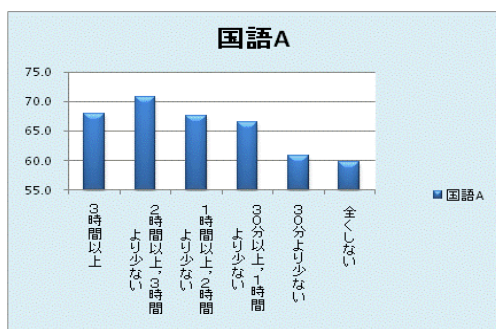


中学生



普段の学習時間が30分未満の本市の生徒の割合が、大阪府平均よりやや高い。また1日2～3時間の学習時間の生徒の正答率が高い。

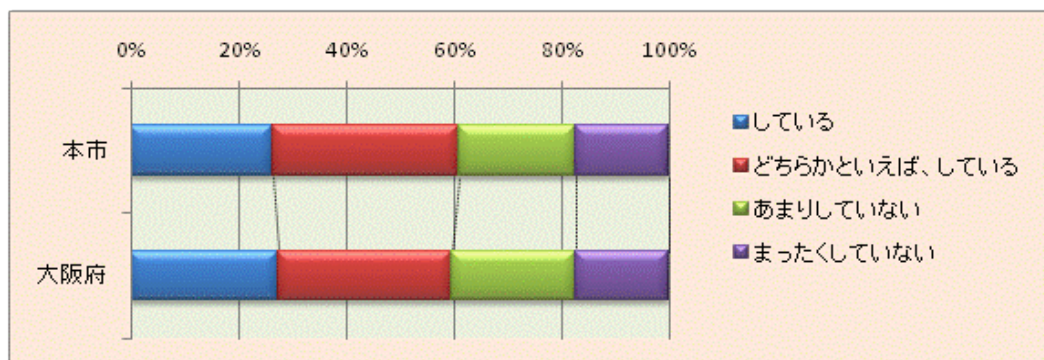
学力調査とのクロス集計(縦軸は平均正答率)



②学習計画

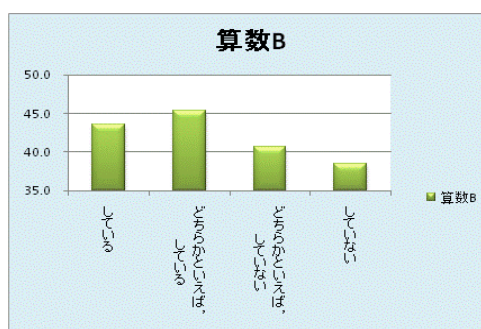
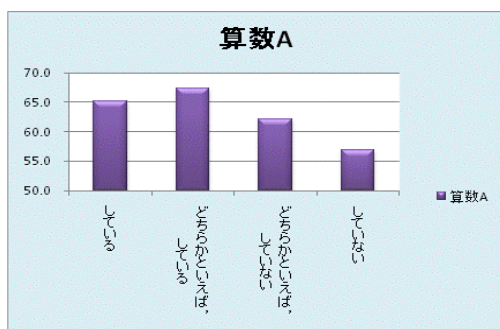
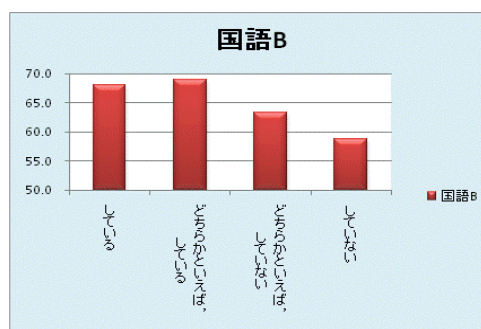
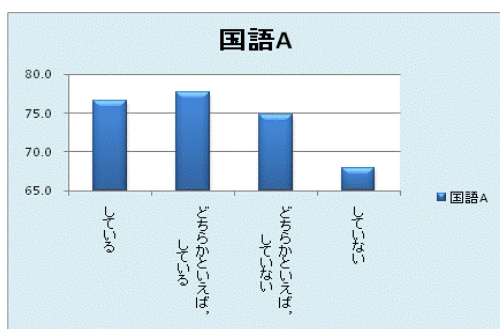
「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」

小学生

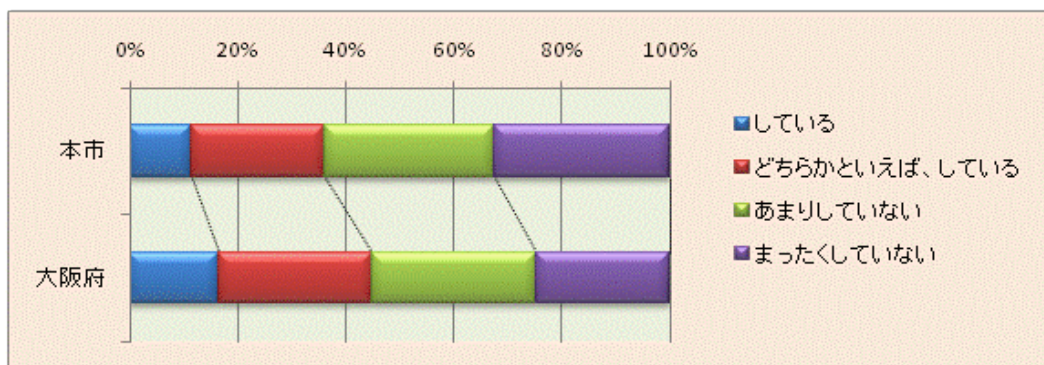


家で自分で計画を立てて勉強している本市の児童の割合が昨年度より増え、大阪府平均並みに。概ねしている児童の正答率が高い。

学力調査とのクロス集計(縦軸は平均正答率)

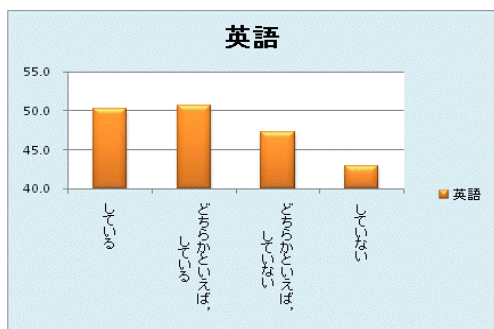
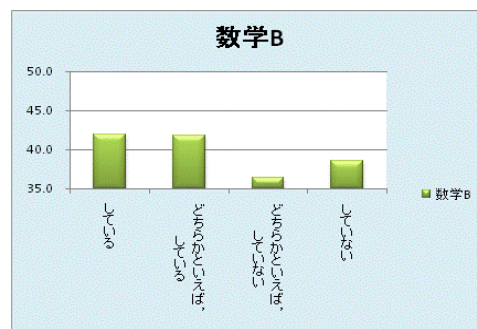
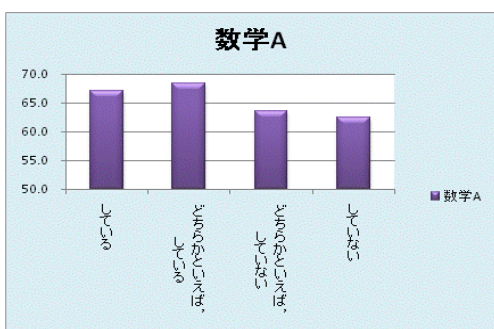
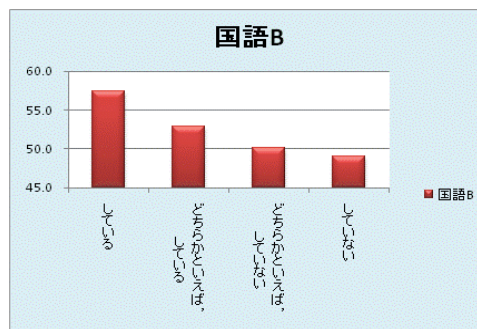
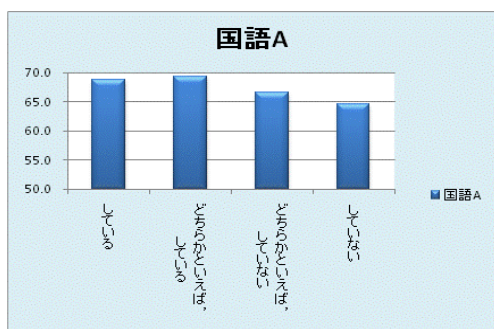


中学校



家で自分で計画を立てて勉強している本市の生徒の割合が昨年度より減り、大阪府平均を下回っている。国語、数学ともに特に「活用」の部分で正答率に差が出ている。

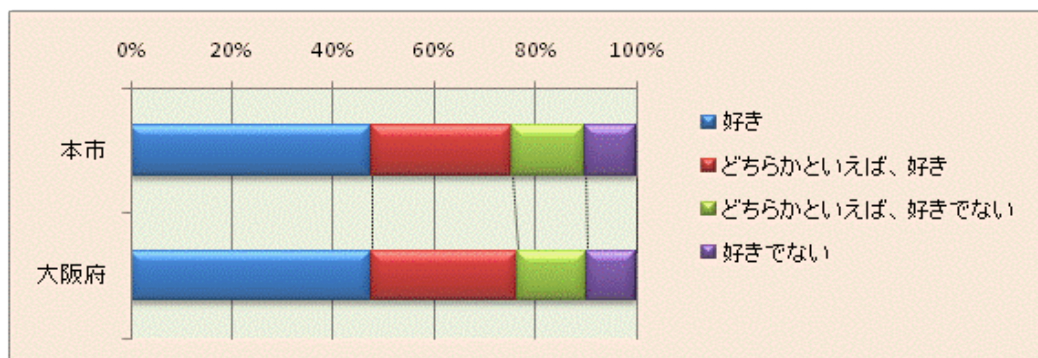
学力調査とのクロス集計(縦軸は平均正答率)



③読書

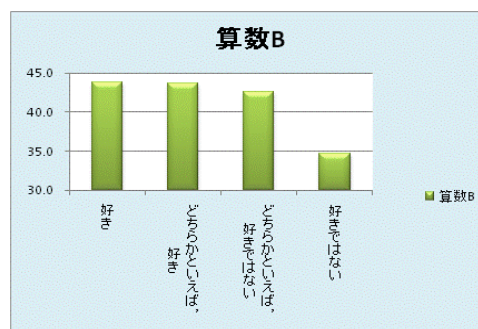
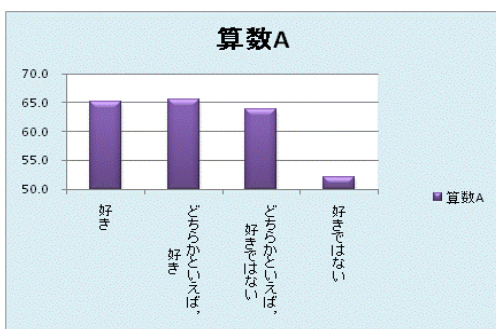
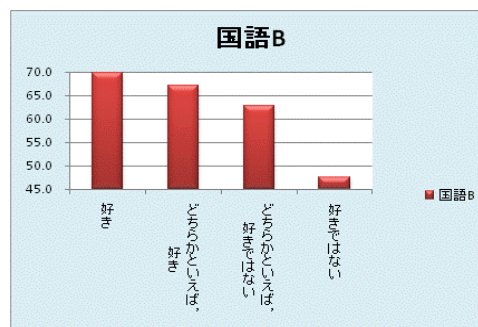
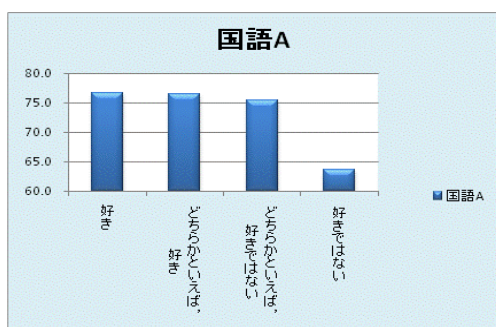
「読書は好きですか」

小学生

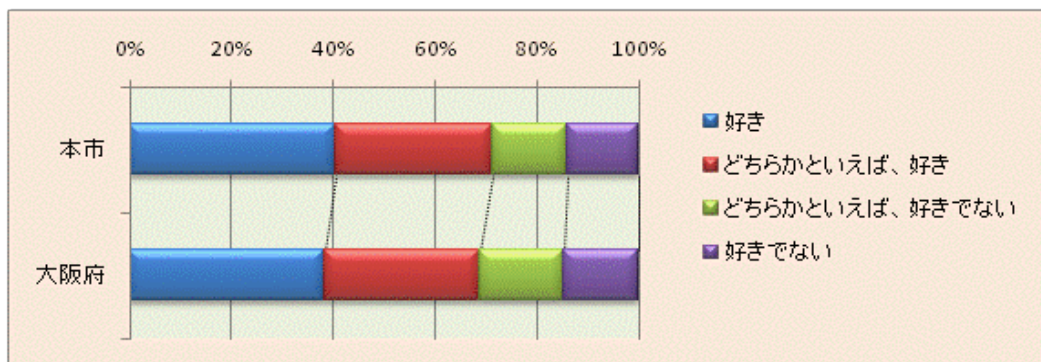


読書が好きな本市の児童の割合は、ほぼ大阪府平均並み。「好きではない」と答えた児童の正答率が極端に低い。

学力調査とのクロス集計(縦軸は平均正答率)

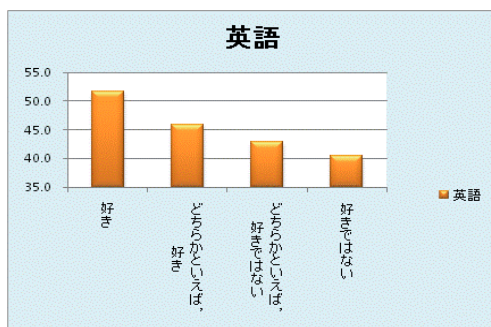
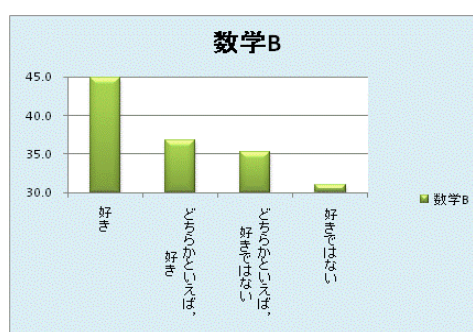
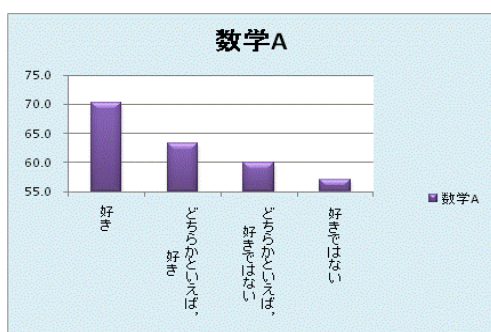
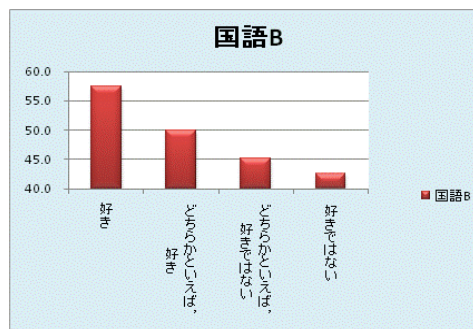
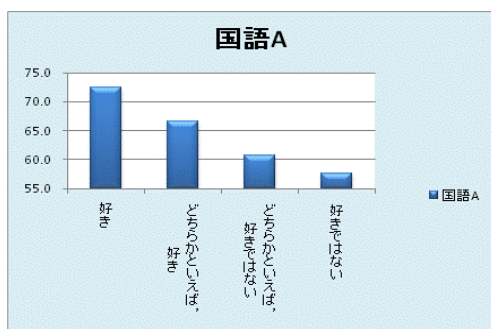


中学生



読書が好きな本市の生徒の割合は、大阪府平均より少し高く、小学生以上に読書好きな生徒とそうでない生徒の正答率に差が出ている。

学力調査とのクロス集計(縦軸は平均正答率)

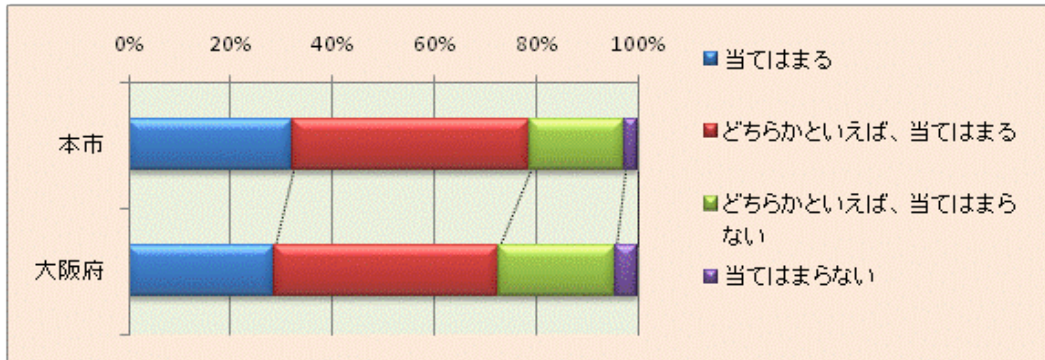


本市の特徴的なものから

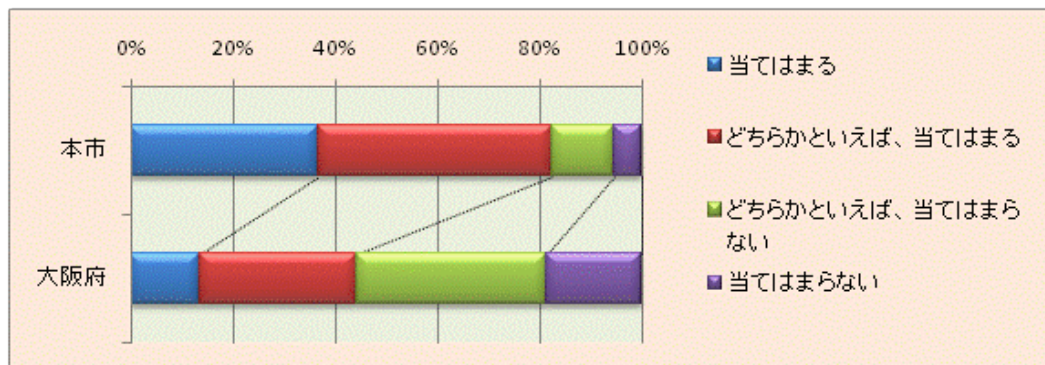
話し合う

「普段の授業では、みんなと話し合う活動をよく行っている」

小学生



中学生

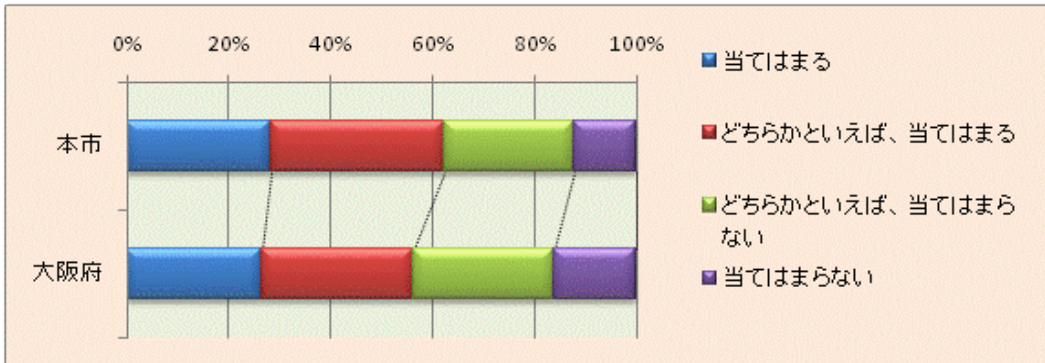


昨年度同様、話し合いを中心とした授業がすすめられており、特に中学校では大阪府平均を大きく上回っている。

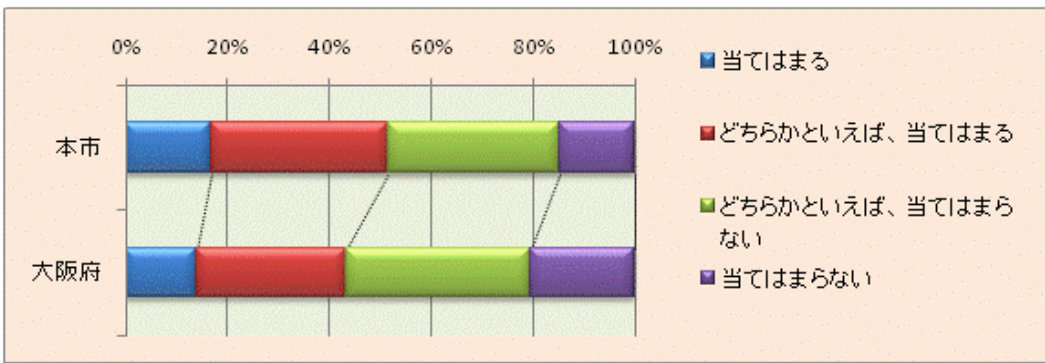
発表する

「普段の授業では、自分の考えを発表する機会がよくある」

小学生



中学生

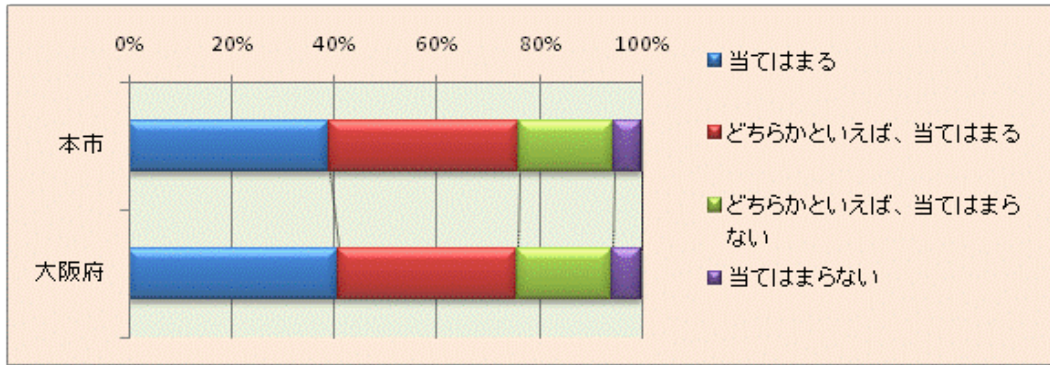


言語活動を中心とした授業が小学校と中学校ともにすすめられており、大阪府平均より上回っている。

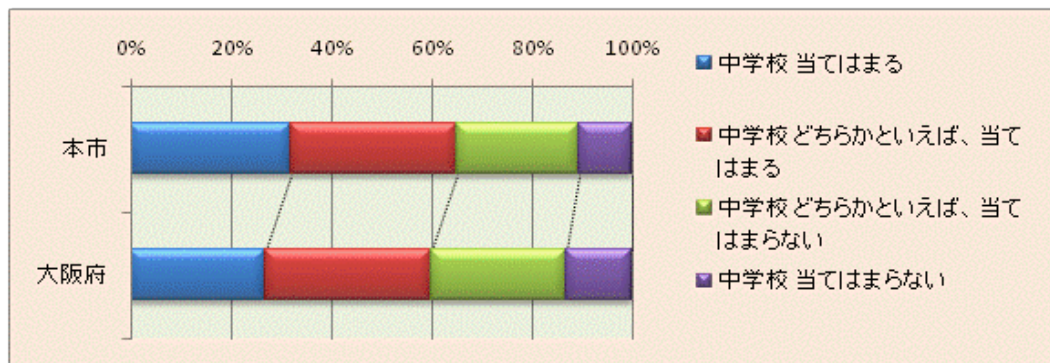
ノートにまとめる

「普段の授業では、自分の考えをノートやプリントにまとめる活動をよく行っている」

小学生



中学生

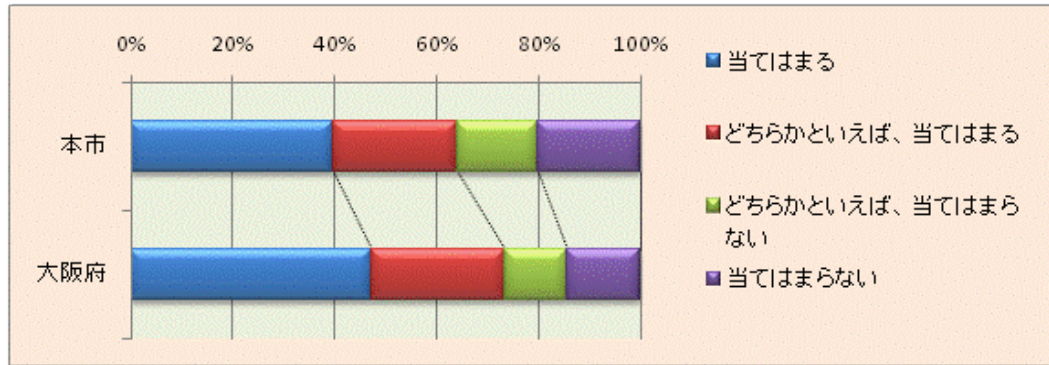


ノートを有効に活用した授業がすすめられており、中学校では大阪府平均を少し上回っている。

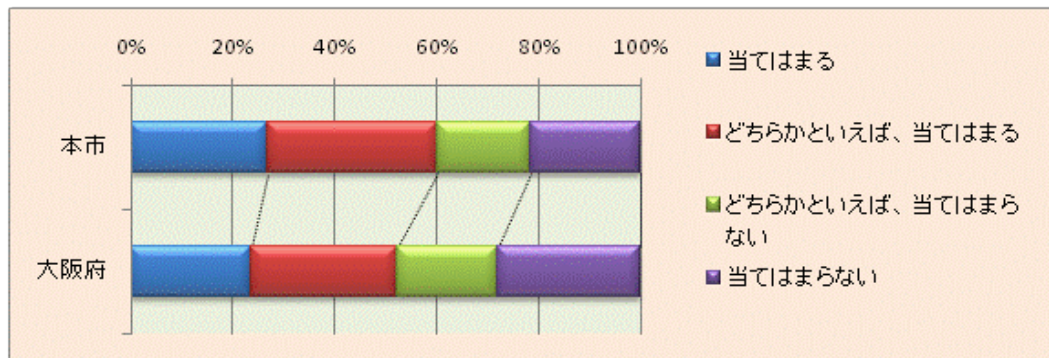
習熟度別学習

「勉強のわからないところを、ゆっくりといねいに学習するコースや、早く進むコースなどに分かれて行う授業はよくわかる」

小学生



中学生

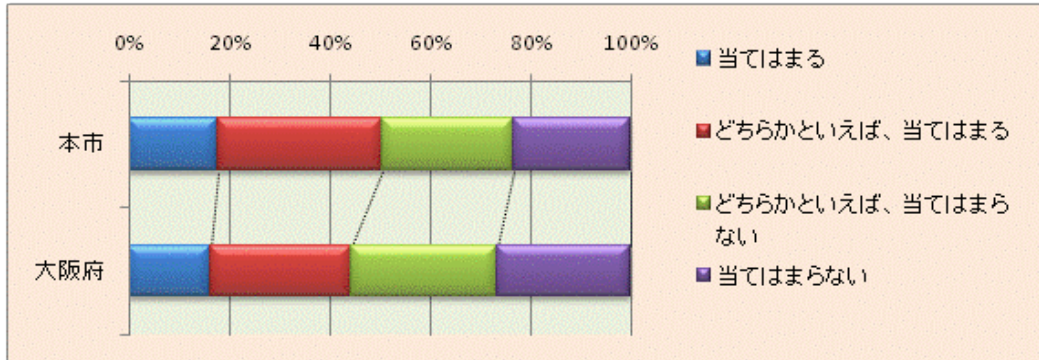


習熟度別学習の効果は、中学校において大阪府平均より高く出ている。

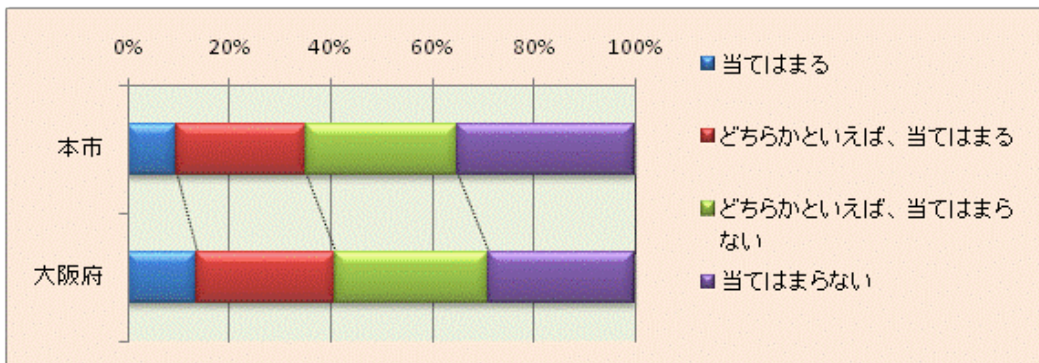
復習

「学校の授業の復習をしている」

小学生



中学生

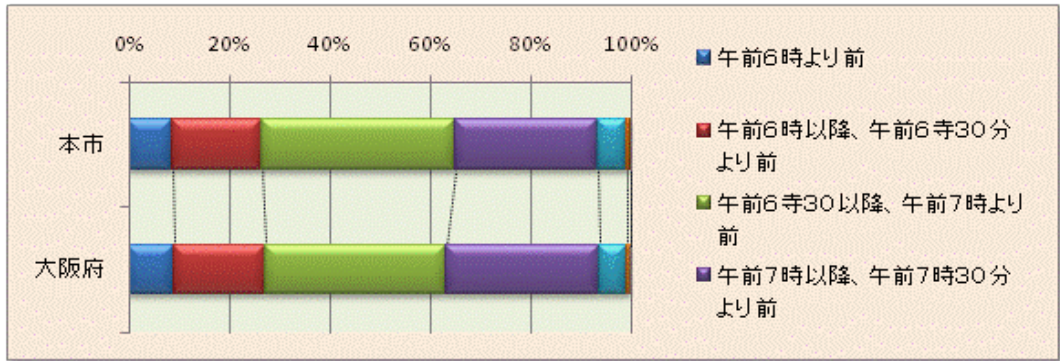


復習をしている児童生徒の割合は小学校と中学校で差があり、特に中学生に課題がある。

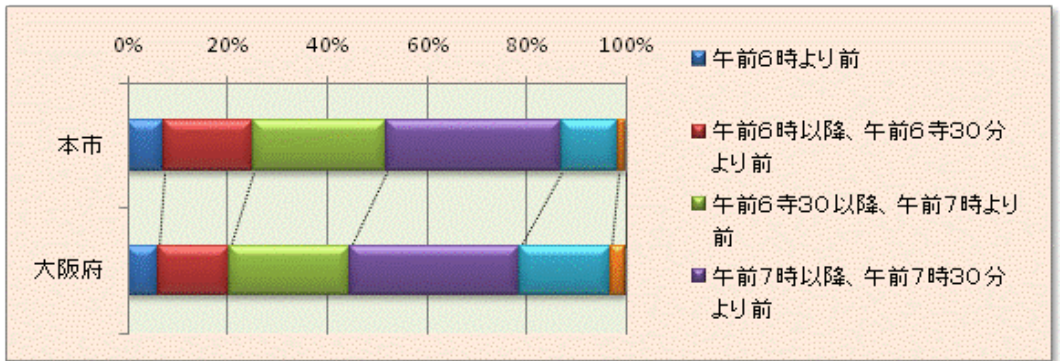
起床時間

「普段(月曜日から金曜日)、何時ごろに起きますか」

小学生



中学生

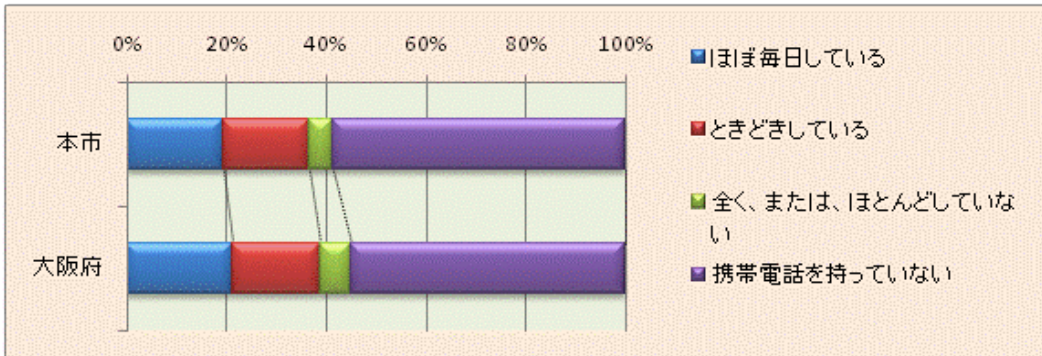


中学生が大阪府平均に比べ早起きな傾向にある。

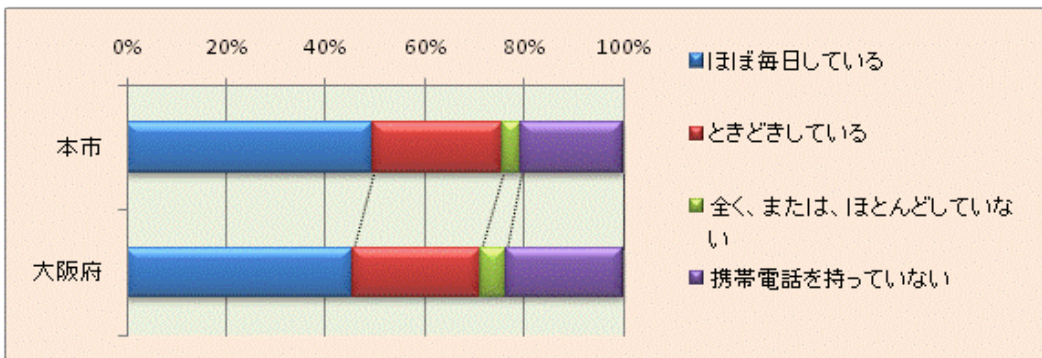
携帯電話

「携帯電話で通話やメールをしていますか」

小学生



中学生

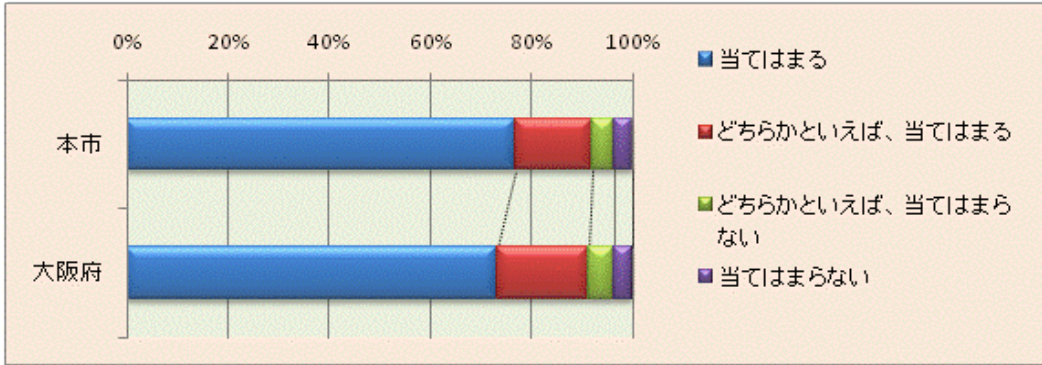


昨年度より携帯電話の所有率、使用頻度が特に中学生で増加しており、大阪府平均より高い。

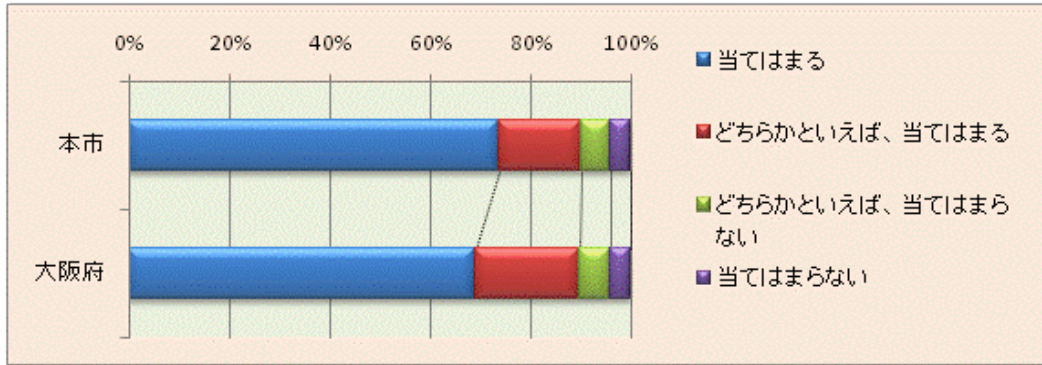
規範意識

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」

小学生



中学生

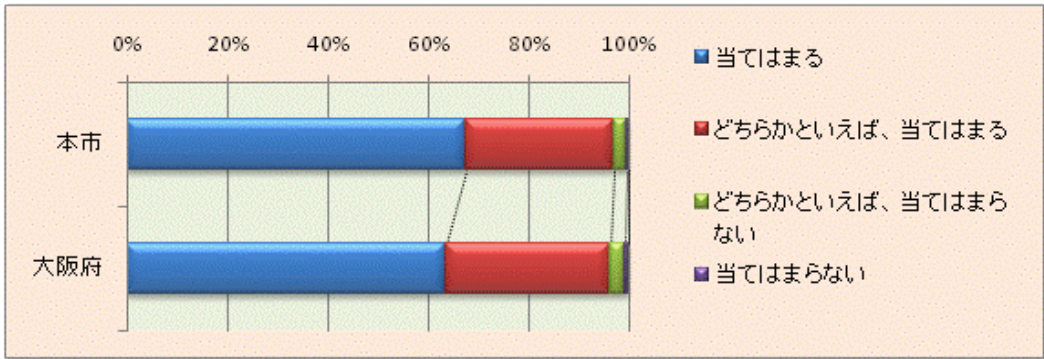


いじめは、どんな理由があってもいけないと考える本市の児童生徒が増加しており、大阪府平均を上回っている。

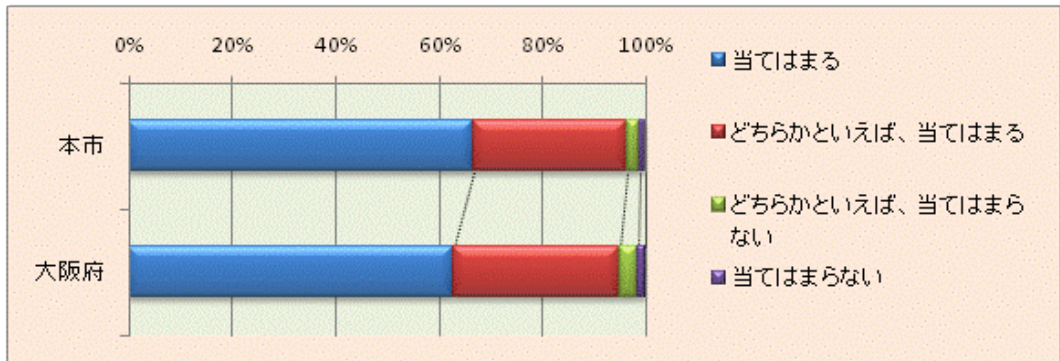
規範意識

「友だちとの約束を守っている」

小学生



中学生

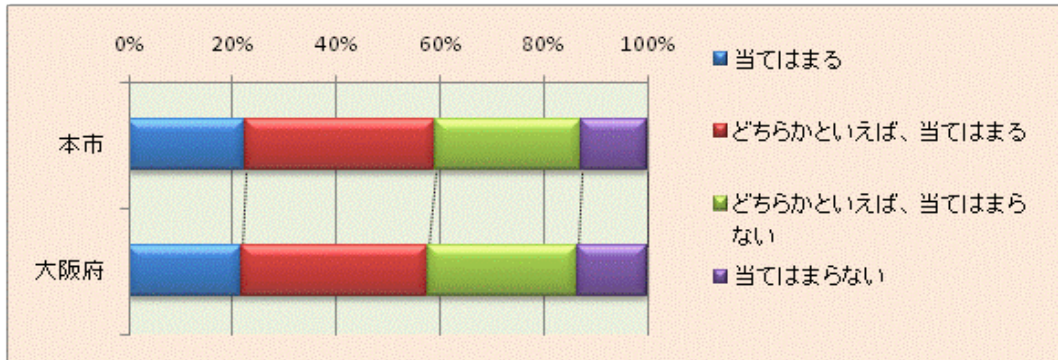


昨年度より友だちとの約束を守る児童生徒が増加しており、大阪府平均を上回っている。

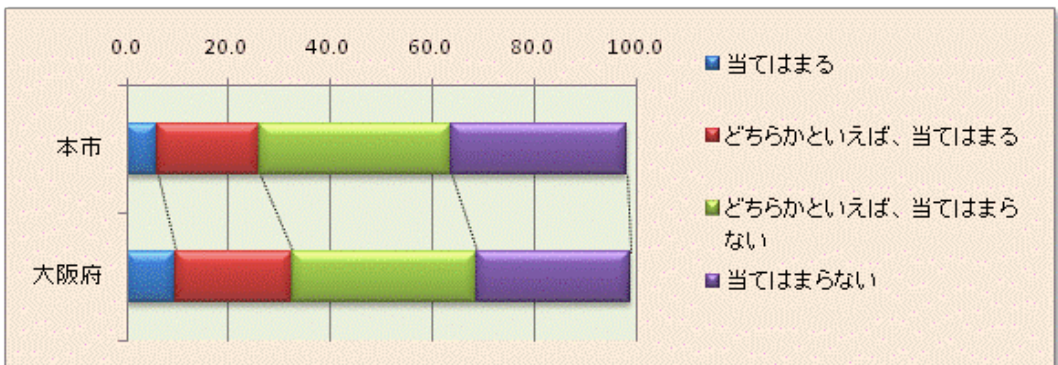
自尊感情

「学校の勉強には自信を持っている」

小学生



中学生

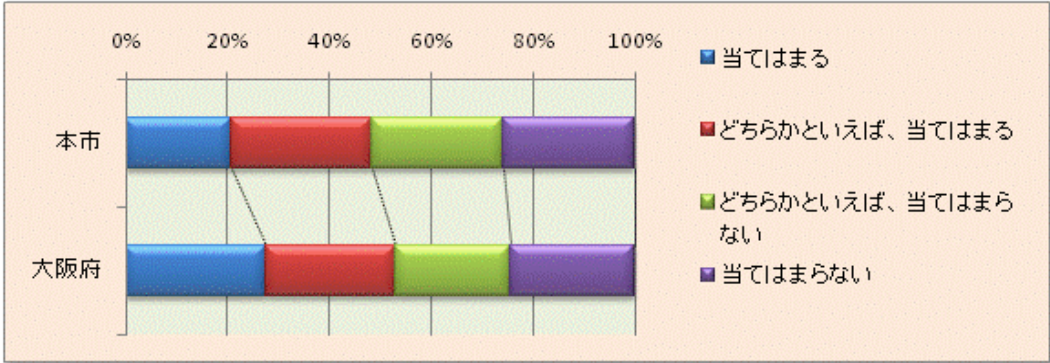


学校の勉強に自信を持っている中学生の割合が少なく、大阪府平均を下回っている。

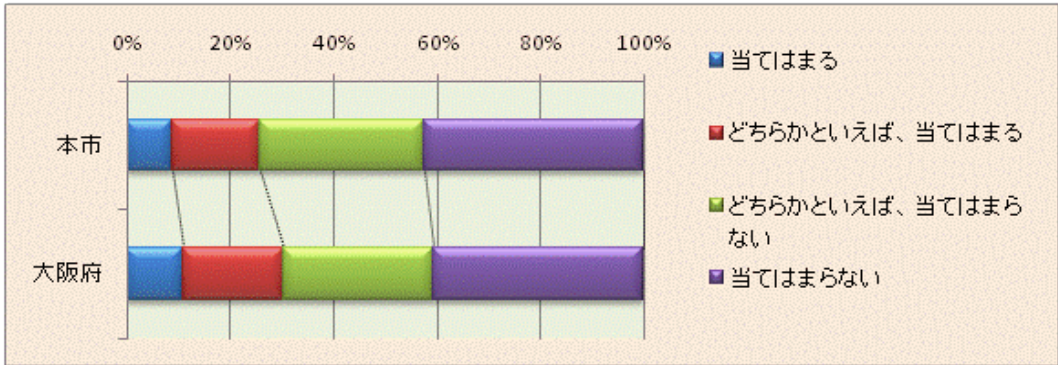
社会に対する興味、関心

「今住んでいる地域の行事に参加している」

小学生



中学生

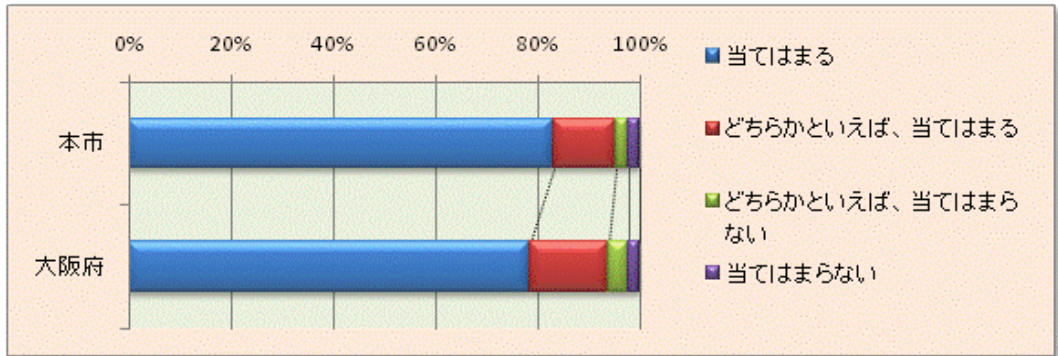


昨年同様、地域行事に参加している児童生徒の割合は大阪府平均より低く、全く参加していない中学生が増加の傾向である。

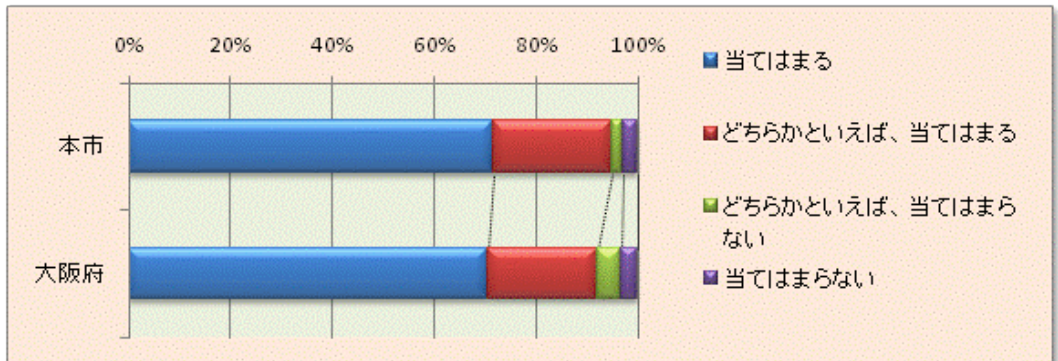
学校生活

「学校で友だちに会うのは楽しい」

小学生



中学生



仲間づくりを大切にした取組が小学校、中学校ともにすすめられており、学校で友だちに会うのを楽しみにしている児童生徒の割合が大阪府平均より高い。

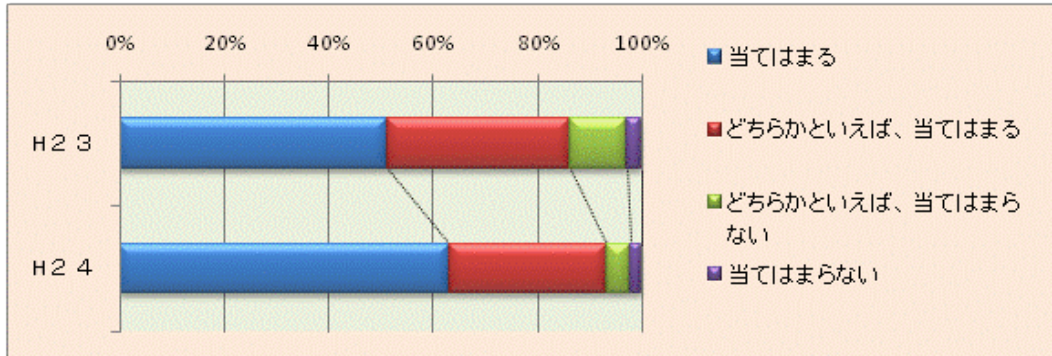
平成23年度の結果から変化が認められた項目

平成23年度の結果から変化が認められた項目

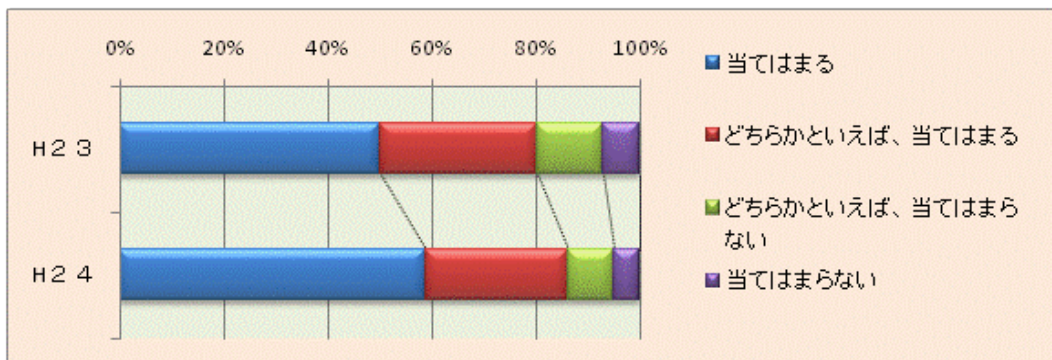
小学校、中学校ともに変化が認められた項目

「国語の調査で、解答を文章で書く問題について、最後まで解答を書こうと努力した」

小学生



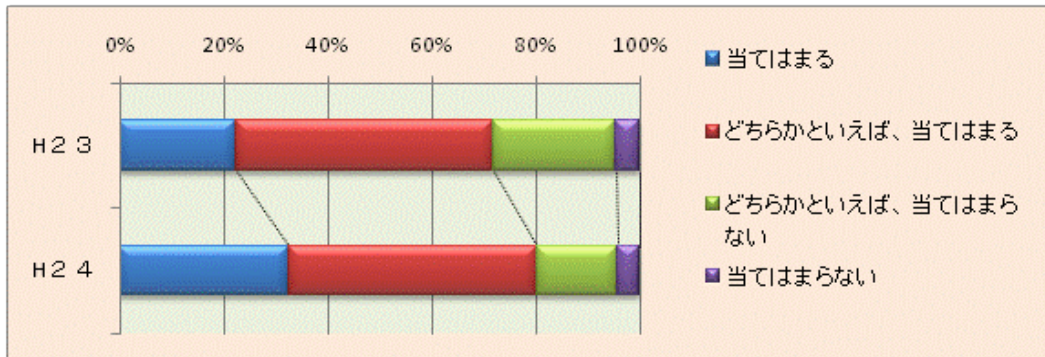
中学生



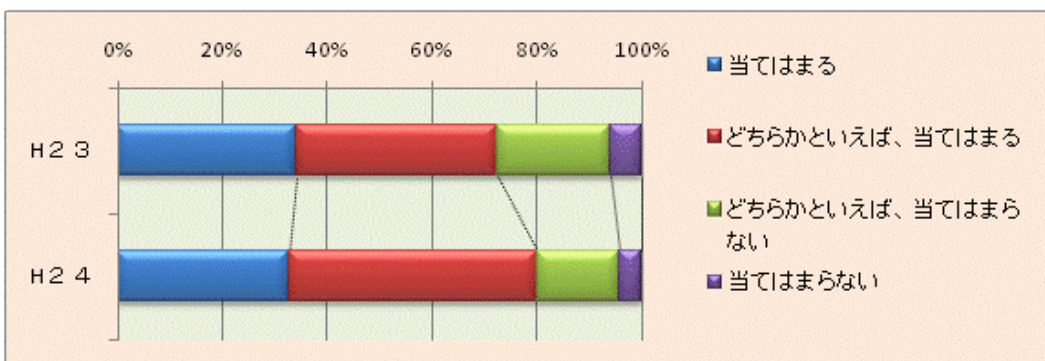
粘り強く問題に取り組む児童生徒が増加している。

小学校で変化が認められた項目

「学校のきまりを守っている」

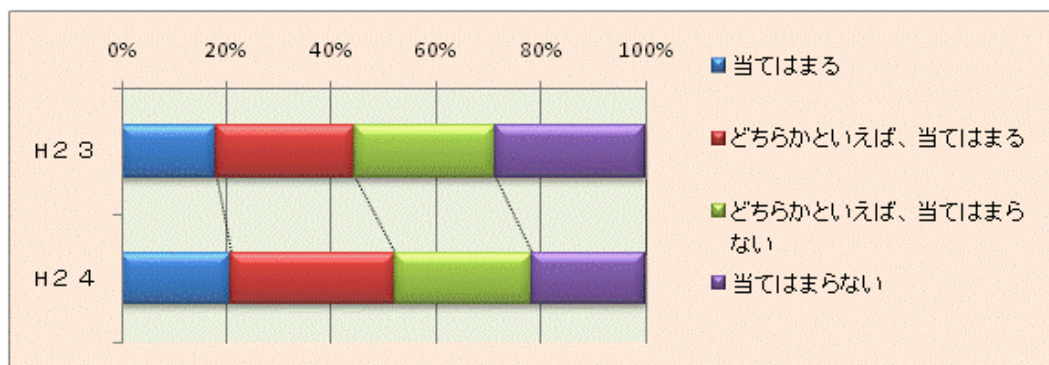


「チャイムが鳴ったら席につくようにしている」



規範意識に高まりが見られる。

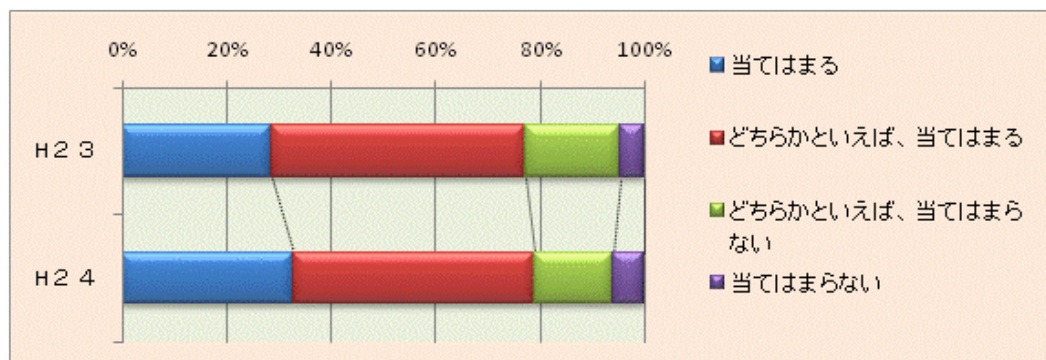
「テストで間違えた問題について後に勉強している」



テストのやり直しができている児童が増加している。

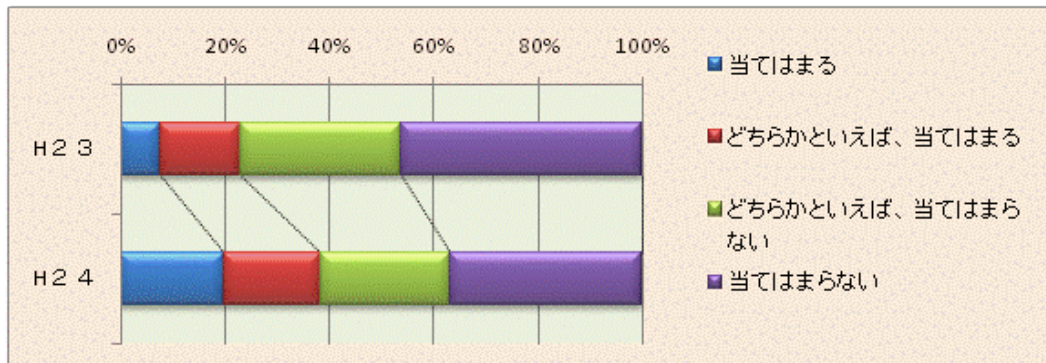
中学校で変化が認められた項目

「授業や学級会などでは、先生や友だちの話をよく聞いている」



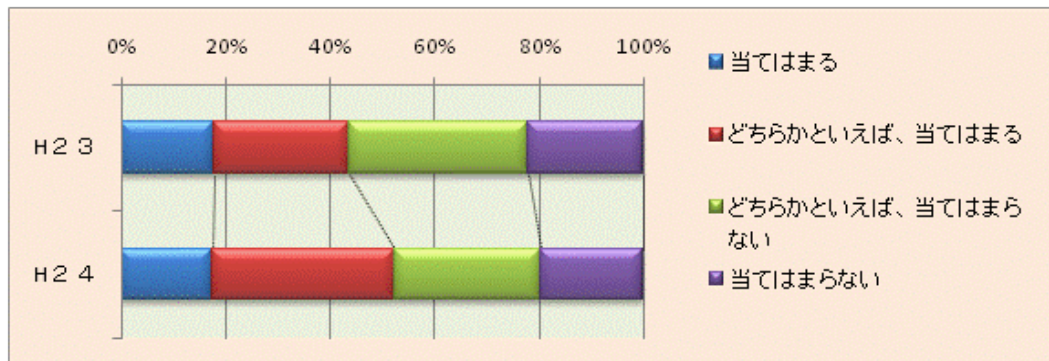
人の話を聞く姿勢が育ってきている。

「英語の授業で、自分の考えや表現を英語でスピーチすることがある」



新学習指導要領に則した、コミュニケーション能力を育成する授業がすすめられている。

「自分は、みんなの前でもはっきりと意見が言える方だと思う」



自尊感情の高まりが見られる。